

神奈川県立歴史民俗資料館第12集

中国湖南省藍山県 ヤオ族儀礼文献に関する報告 I

2011年3月

神奈川県立歴史民俗資料館研究科

— 目 次 —

はじめに	ii
1. 藍山県の位置	1
2. 藍山ヤオ族度戒儀礼程序	3
3. 藍山ヤオ族度戒儀礼中補掛三灯部分程序	37
4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録	47
5. 底本テキストA-32aの翻刻	57
6. 比較を行うテキストの目次	99
7. 各テキストの比較表	101
おわりにかえて	141

はじめに

2008年冬に湖南省藍山県に居住する過山系ヤオ族の伝承する通過儀礼の中で、宗教職能者としての最高位を叙任する度戒儀礼の総合的な調査を行なった。度戒儀礼は文化大革命等の原因で久しく大規模には行なわれていなかったが、藍山県政府によって無形文化遺産の対象とされ、叙任候補者も見つかったため、実施が許可され実現の運びとなった。今回のような15日間にわたり祭祀を執り行なう12名の宗教職能者や会首と称される12名の叙任候補者と夫人等50名以上が参加する大規模な度戒儀礼は今後の実施は不可能となると考えられ、実地調査の貴重な機会であった。儀礼全体の内容について詳細な記録をとることは無論だが、中でも儀礼の進行に必要な不可欠な儀礼文献が儀礼的实践の中で、どの段階で、如何なる目的をもって使用されるか、記録することに重点を置いた。

ヤオ族の儀礼はある意図をもった動作と儀礼文献の読誦によって構成される。礼拝する、足のステップを踏む、手の指を組む、符を書く、水を撒く、回転する、供物を捧げるといった動作と、儀礼文献の本文の読誦や、常用する詞章や演劇的科白、その都度神に向かってしたためられる儀礼文書、秘術の呪文の念誦が同時並行で行なわれる。動作と読誦の両面を空間と時間にわたってしっかりした記録にとどめることによって、今まで充分に行なわれてこなかったヤオ族の儀礼の全容が解明されることになる。

その上で道教儀礼やその他の地域の民間祭祀儀礼等との比較が可能になる。また文献学的儀礼研究との接合も可能になり、儀礼史の上に体系的に位置づけることにも繋がる。歴史的な儀礼文献との比較を行なうことで、現代に至る道教儀礼の歴史的変遷をヤオ族の儀礼に通観できることになる。またヤオ族の儀礼にあって道教儀礼にない内容からヤオ族の儀礼の独自の面が明らかになる。

今回収集した文献資料及び収録した映像画像資料は全てデータ化し、儀礼文献の翻刻を行ない、使用される儀礼内容の説明を付し、公開を進めている。本書ではその成果の一部の報告を行なう。今回のプロジェクトは神奈川大学に設置されている神奈川大学ヤオ族文化研究所を拠点として実施しており、歴史民俗資料学研究科の院生はメンバーとして調査や研究会に参加し活動している。さらに比較民俗資料学の演習において儀礼文献の翻刻作業を進める一方、研究面では2010年11月神奈川大学開催の国際シンポジウム“ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム”での口頭発表や『瑶族文化研究所通訊』1号（ヤオ族文化研究所2009年）、同2号（2010年）に翻訳、書評、報告を行なう等を通して院生は研究成果を発表している。

本報告書では、度戒儀礼の全体の流れを示すために程序を載せ、特に儀礼の中で補掛三灯の部分を取り上げ唱えられる呪文、読誦されるテキストの詳細な内容を載せた。さらに映像資料と結合させたDVDを制作し付した。儀礼祭場に掲げられ、テキストにも記述のある神々を描いた神画の静止画を載せた。

さらに儀礼調査時（度戒儀礼・還家愿儀礼・葬送儀礼等）に撮影させて頂いた儀礼文献の目録を作成しタイトル、ジャンル、紀年、記名等の固有名詞、冒頭と末尾の文字及び冒頭の静止画及び分かる範囲の内容と頁数（現代の図書と同数の数え方を用いた）を記した。文献解釈の前提となる作業のテキスト・クリティクを進める中間報告として、収集した儀礼文献の中で、使用される頻度の高いテキストのヤオ族文化研究所所蔵番号A32aを底本とし翻刻を掲載した。さらにテキスト間の異同の比較対照を行なうため、その他の複数のテキスト（ヤオ族文化研究所所蔵番号18、20、22、30b）及び張勁

松が集収した光緒22年の写本を並記した。対照させた文献についてはその内容の構成を目次化した。その際タイトルが不明な個所については内容を踏まえ便宜的にタイトルを施した。

ヤオ族の男性は必ず宗教職能者となるイニシエーションを経なければならないとされ、宗教職能者としての法名を得てはじめて家を継承する資格を獲得することになり、法名は代々の祖先の法名が連記される家先単に加えられる。その上でさらに宗教職能者としての段階の最高位を獲得するために行なわれるのが度戒儀礼である。度戒儀礼以前に掛三灯、掛灯儀礼を経なければならぬが、まだ実施していない場合は、度戒儀礼の中で補掛三灯儀礼が行なわれる。

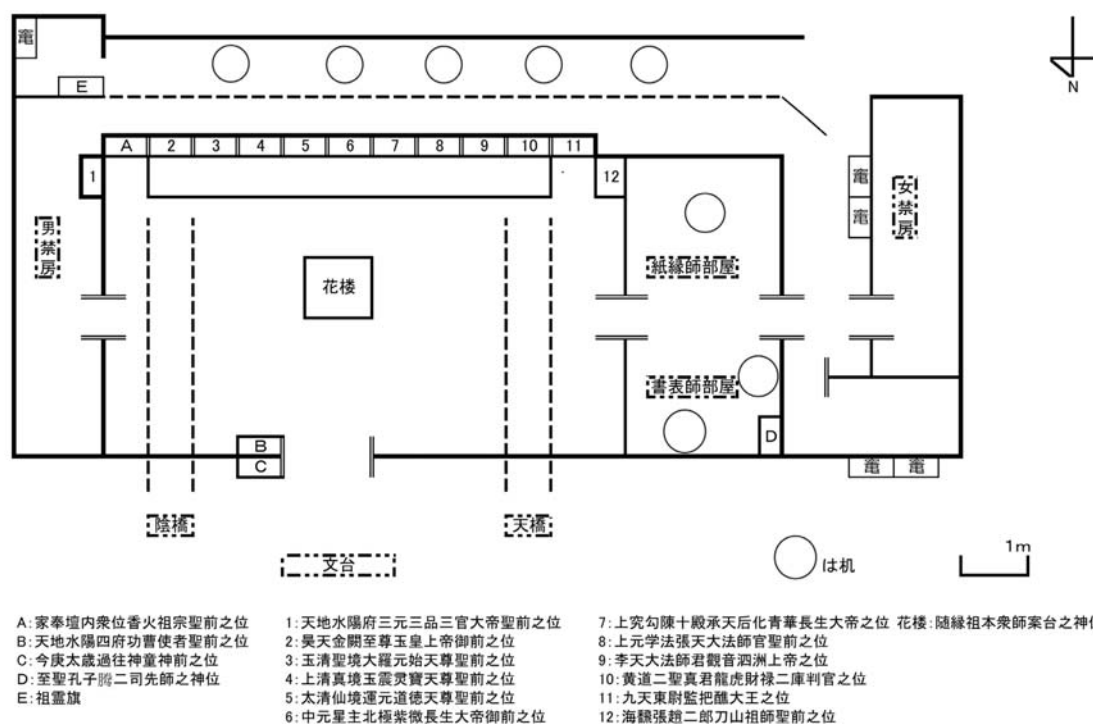
度戒儀礼を進行し、宗教職能者の叙任に必要な受礼を行なう12名の宗教職能者は、主醮師、引度師、書表師、紙縁師、証明師、保挙師、総壇師、座壇師、執香師、茶酒師、吹笛師、鼓楽師と称し役割を分担している。

叙任候補者は12名で第一会首から第十二会首と称され、本人ばかりでなく妻、亡くなった親族まで宗教職能者として高位に叙任される。

儀礼で使用される儀礼文献には、通過儀礼に関する写本、儀礼に用いる文書類、神々を崇拝する神歌に関する写本、神々の呪文に関する写本、符、罡歩、手訣に関する写本（吉日を選ぶ暦、宗教職能者の受礼の状況を記したもの等が含まれ、内容からは賞光書・伝度書・請聖書・意者書・歌堂書・超度書・暦書のジャンルに分類できる。

祭場となる建物の（醮壇）（およそ横13.3メートル、縦8メートル）は、谷の奥まった地を選んで臨時に北側を入口として建てられる。

主祭場正面には祭壇が設けられ、会首の祖先、天地水陽府三元三品三官大帝、昊天金闕至尊玉皇上帝、玉清聖境大羅元始天尊、上清真境玉震靈寶天尊、太清仙境運元道德天尊、中元星主北極紫微長生大帝、上究勾陳十殿承天后化青華長生大帝、上元学法張天大法師官、李天大法師君觀音泗洲上帝、黃道二聖真君龍虎財祿二庫判官、九天東尉監把醮大王、海鯤張趙二郎刀山祖師が祀られる。入口脇に天



図あ

地水陽四府功曹使者の祭壇、入口外側に今庚太歳過往神童神の祭壇がある。文書を準備する書表師の部屋には至聖孔子騰二司先師の祭壇があり、建物奥会首たちの集う部屋にはあの世で叙任する祖先を表わす祖霊旗が祀られる。さらに主祭場には移動式の祭壇の宗教職能者の師匠を祀る花楼がある。

(図あ参照 三村宜敬作図)

さらに建物前には開天門の儀礼を行なう文台と称される木の板が敷かれた祭場、約200メートル離れた場所に雲台と称される祭場が設けられる。

建物主祭場から外部に左右に天橋、陰橋と称される布が張りわたされる。主祭場の天井には神に儀礼を報告する文書の榜文が書かれた黄榜・白榜や五色の紙に七言の句が書かれた花牌も張り巡らされる。この榜文や花牌ばかりでなく、儀礼に従って発信される文書を作成する役割を担うのは書表師である。

儀礼の内容は程序に示したが、文書をはじめとして種々な準備が行なわれ、潔斎し、神を招き、陰兵を招き、願掛けをし、願ほどきをし、奉献をし、宗教職能者となる掛灯を行ない、宗教者としての階位を高めるため試練を受け、受戒し、お披露目のパレードをし、精進落としをし、神を送る等から構成される。

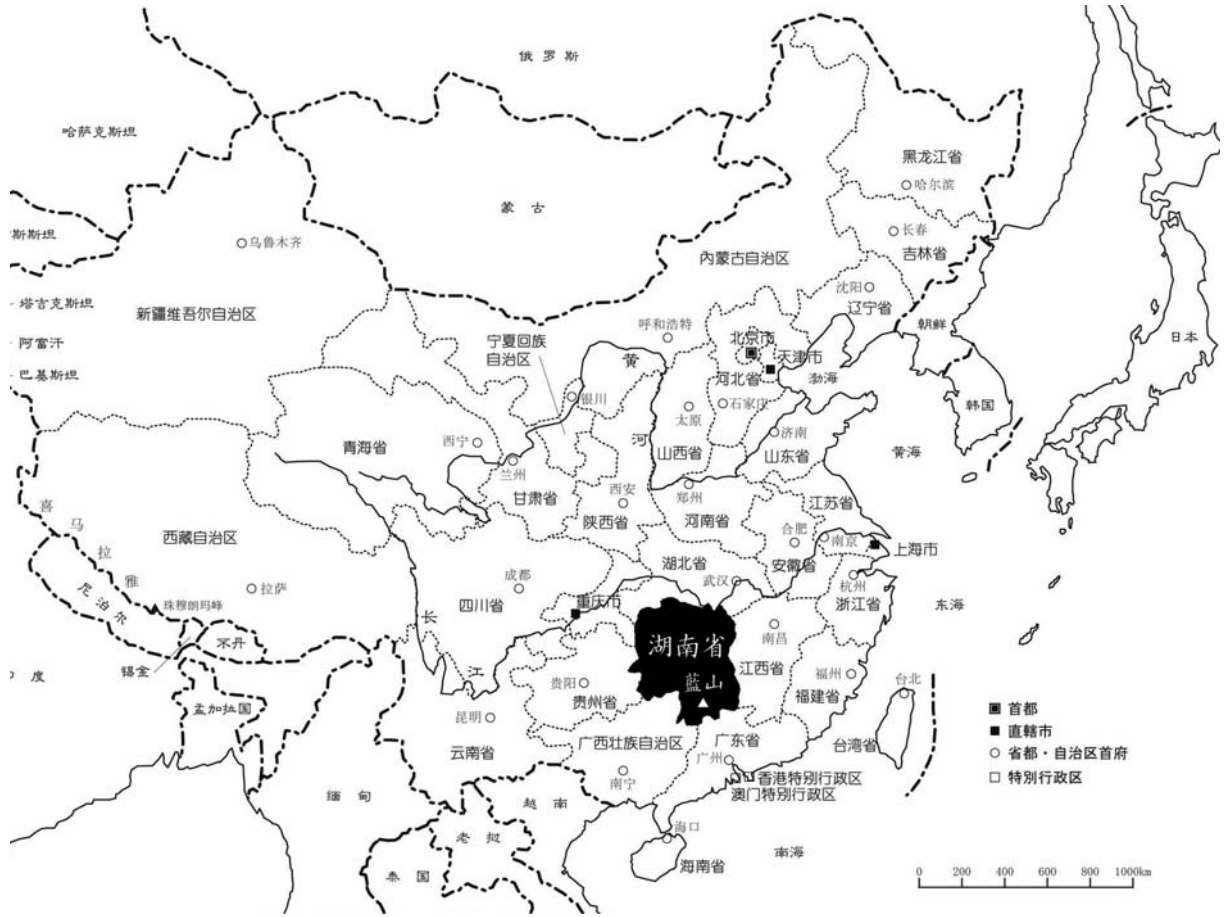
今後の課題として他の種々な資料と対照することでさらに深い理解と新たな発見が期待できると考え、すでにバイエルン州立図書館及び南山大学に収蔵されているヤオ族の儀礼文献を閲覧し、今回の度戒儀礼等の調査で収録した資料との比較を行なう資料収集を進めている。今後引き続き報告を行ないたい。

なお調査研究を進める資金として、科学研究費補助金基盤研究 (B) 研究科題名「ヤオ族の儀礼と儀礼文献の総合的研究」、トヨタ財団2009年度アジア隣人プログラム 特定仮題「アジアにおける伝統文書の保存、活用、継承」企画題目「中国湖南省藍山県のユーミエンの度戒儀礼に使用される儀礼文献・儀礼文書の保存と活用と継承」を得て活動している。

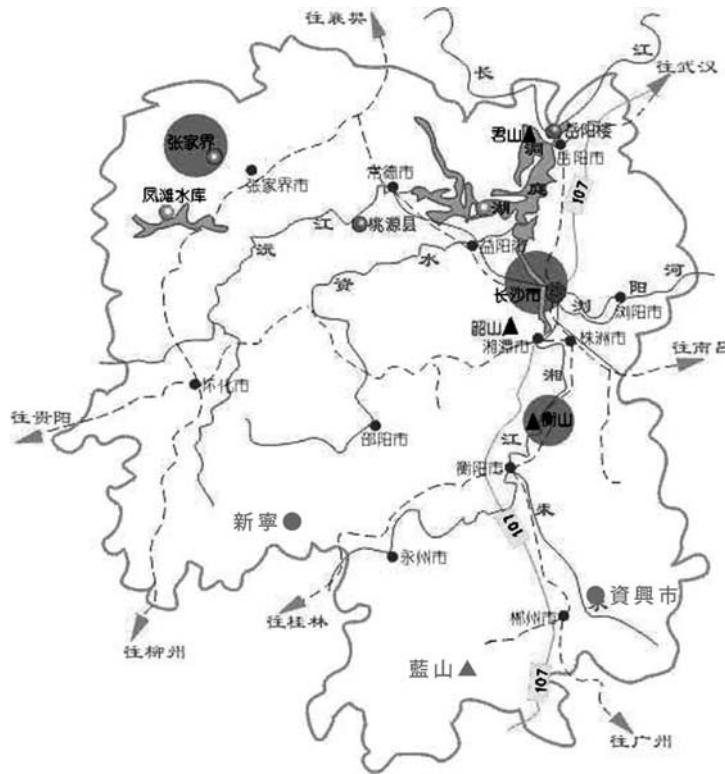
院生参加メンバーは、博士後期課程李利・三村宜敬・佐川潤子・白莉莉、博士前期課程内藤久義・譚静・財津直美・大木都志男である。

文責 廣田 律子

1. 藍山県の位置



中国全图



湖南省藍山県地图

2. 藍山ヤオ族度戒儀礼程序

2008年ヤオ族度戒儀礼程序

本表は作成過程にあり、特に疑問のある部分には「*」を付けた。

日付	時間	時間 (予備)	大儀礼名	小儀礼名	場所 (大項目)	場所 (小項目)	行動主	行動	読誦・念誦している テキスト	処理(燃やす・ 書けるなど)した 文書	記録者	備考
11/26	13:00		安壇	收兵	主祭場	家先衆壇前	主醮師・書表師	家先衆壇前で念誦、「衆姓弟子履代家先之神位」が書かれた赤紙の裏に鶏の血を撒いて、家先衆壇の壁に貼る。神位の前に3枚の黄札を置く。唱えごと・焼紙銭・筥。会首の兵を呼ぶ。上壇(度戒した兵馬)下壇(掛灯下兵馬)の壇神を呼ぶ。	A32a「請上壇兵」 「請下壇兵」…「家先」		李	7枚の紙銭を並べる。七橋とする米・1枚の生豚肉・丸鶏・5杯の酒・鈴笏・1碗の水・ヤカンがある。
11/26	記述無し		安壇		主祭場	家先衆壇前	主醮師	献酒			李	
11/26	午後		安壇	落兵	主祭場	家先衆壇前	主醮師・引度師・書表師	祭司の兵を呼ぶ。	A15a 参照。		李	
11/26	17:00		【作業】					戸口に禁止事項貼る。			廣田	元々書表師の役だが、主醮師が代行。
11/26	17:24		【作業】		書表師作業場		主醮師	孔子位を作る。			吉野・李	
11/26	17:35		供奉	請孔子	書表師作業場		主醮師	孔子位前卓上に五酒盞・一水碗。主壇に置いた3つの箱に米を入れている。	A1 請陽符呪語		吉野	
11/26	17:50		供奉		主祭場		主醮師				吉野	
11/26	18:07		供奉		書表師作業場		主醮師・書表師	孔子・習った老師・把筆童子・立牌郎君・勅符童子・造符郎君を請する。醮師念誦、紙銭を焼く、筥、名簿よむ。			吉野・李・廣田	※上の段に1枚の生豚肉、丸鶏を配る。卓上に置いたもの：硯・筆具・米の上に1個の紅包を置く箱・5杯の酒・1碗の水・ヤカン。
11/26	19:27頃		【作業】		紙縁師作業場		紙縁師他	倣紙馬			吉野	この紙馬は、11.8cm×39cmの紙に途中まで切れ込みが5つ入っている。6打。もう1枚の紙に馬を捺印し、切れ込みのある紙と重ねてゆく。
11/26	19:50～		安壇	撥三清兵	主祭場	中央机	主醮師	長い机に米を入れて3つの箱を置く。箱の中に白布・線香・紅包を置く。箱前に4つの酒盞・1つの水碗・碗の中にある生豚肉を並べる。唱えごと、会首の名簿を読む、焼紙銭、筥。	テキスト無し念誦。 テキスト無し念誦。		李・廣田	中央机とは主祭場中央に置かれた机のこと、またその場所の意。 上壇兵馬・下壇兵馬・福江齋王聖帝・五龍司命灶君・住宅齋神・会首家先・神王神將・仙姑妹妹・師父帶來兵馬・方地地主・本部地主・把界地主・師父を請購する。
11/26			安壇	撥硫表兵		中央机	書表師					
11/26			安壇	撥橋		中央机	引度師					
11/26	20:08		安壇		主祭場	中央机	主醮師・引度師・書表師	会首名単を読誦。			吉野・李	
11/26	21:20						会首	出て来て正装。				

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

11/26 22:09	安壇	撥橋	中央机	主齋師・引度師・書表師・会首 12名	唱えごと、箱の中に白布を開いて、地面まで、会首 12名は跪いて、管。			李	敬前輩祖神？*(廣田)
11/26 22:07	安壇	撥橋	中央机	主齋師・引度師・書表師・会首 12名	唱えごと、開いた白布を戻し、焼紙銭。会首 12名は立ち上がる。			李	
11/26 22:40	封小齋	求師	家先衆壇前	主齋師・引度師・書表師	黄表を読み上げる。「封小齋黄表」→天香で焼く。この前に1通、天香で焼いた。何かは未確認。残りは、「封齋文引」→地面に置いた紙銭の上で焼く。			吉野	
11/26 23:11	封小齋	封小齋開天門	主祭場前広場	主齋師	唱えごと、疏篋(紙銭・紙馬・紙文・線香)を際やす、管、牛角を吹く、劍。	封小齋表・封齋文引・その他一通		李	
11/26 終日				会首	作疏篋・腰掛・儀礼用竹・杉・ヤカン・蓋などの準備。			李	
11/27 終日	【作業】			書表師	疏表を書く。			李・吉野	
11/27 終日	【作業】		紙縁師作業場	紙縁師・他 2名	紙銭作り、作法師馬印、銭。			李・廣田	古い馬板を使用して、今回作ったものは使ってなかったらしい。
11/27 記述無し	【作業】				家先衆壇・主祭場入口に対聯を貼る。			李	
11/28 12:00	【作業】		主祭場		主祭場で花桜らしきものを作り始める。			吉野	
11/28 11:34	【状況】				紙馬作りは相変わらず続いている。法師馬印を捺している。			吉野	今日から豆腐料理が増える。
11/28 終日	【作業】		紙縁師作業場		午後、雲台作り始まる。			吉野	
11/28 15:00	【作業】		雲台		杉木を削りたる棒に「大上王姥朝天玉簡勅賜波浪水槽一面勅床一座 大上王姥準此 急急如律令」という文字を朱子で書き入れた。			吉野・李	雲台の作業は特になし。
11/29 10:30 頃	【作業】		主祭場	書表師	十二灯台作成。			吉野	雲台のところまで、祭場から田の東側に道ができていた。
11/29 記述無し	【状況】		雲台		花桜作成。			吉野	
11/29 記述無し	【状況】		主祭場	会首	主祭場の正面の棚の奥に壁を作る。杉皮を用い、壁を作ってゆく。			吉野	
11/29 終日	【作業】		主祭場	執香師・他 1名	神画を包んだ布包みをもって家先壇前で拝礼。念誦			吉野	
11/29 終日	【作業】		主祭場	総壇師・座壇師・引度師(証盟師の代理)				吉野・廣田	
11/30 11:00 過ぎ	【作業】		主祭場					吉野	
11/30 落兵			主祭場					吉野	
11/30 午後あたり	【状況】							吉野	午後あたりから来客増え、新たな祭司達来る。
11/30 13:00 過ぎ	【状況】							吉野	続々と祭司・信男・信女・その他見物人などが集まり、一気にごった返してきた。
11/30 14:43 ~ 15:43	喝落陣酒		紙縁師作業場		円卓を設置。			吉野	
11/30 喝落陣酒			紙縁師作業場	祭司達	円座、蓋を交わし、仕事始めの宴。			吉野	
11/30 喝落陣酒			紙縁師作業場	主齋師	色々講話。			吉野	講話はミネ語。
11/30 記述無し	【作業】		主祭場	主齋師	十二宮門を作り始める。			李	

2. ヤオ旗府戒職礼程序

11/30	記述無し	【作業】						12個の酒甕を後ろに置く。				李	(封大齋) puang` tom` tsei` 長い机の上に米を入れた2つの箱がある。 箱の中に白布、線香、紅包を置く。 各箱の前に4蓋の酒・1碗の水・ヤカン・碗の中にある五目品(揚げ豆腐・木耳・春雨・黄花草・昆布)を並べる。 いつ何を行つか度戒の全行程を述べる。“封大齋疏文”をよむ。
11/30 20:08		封大齋						封大齋始まる。				吉野	
11/30 20:15		封大齋	主祭場			規縁師*・茶酒師		神位に線香を上げ、水酒を並べ、トラを3回打つ。				李	
11/30 20:45		封大齋	主祭場	請師父封齋		保拳師・証盟師・保拳師 II・証盟師 II		保拳師証盟師が米入り箱の置かれた祭壇前に座る。保拳師弟子及証盟師弟子も加わる。会首の名簿を見る。				廣田・李	
11/30 21:45		封大齋	主祭場		家先衆壇前	主醮師		唱えごと、盆もち礼。				廣田	
11/30 21:45		封大齋	主祭場			証盟師・保拳師		弟子2人は唱えごと、管、酒つぐ、会首名簿よむ、紙銭を積む。				廣田	
11/30 22:00		封大齋	主祭場			証盟師・保拳師		盆を証盟師、保拳師かわるがわるもち、礼、酒を飲み、豆腐を食べる。				廣田	
11/30 22:05		封大齋	主祭場	出排盞		茶酒師・保拳師・証盟師・執香師		巫師は盆を受け取り、祭壇に礼、酒を飲んで豆腐を食べる。これを“領席”と称す。“領席”後に儀礼を行う。				李	
11/30 22:10		封大齋	主祭場		家先衆壇前	主醮師		会首の名簿唱え、紙銭を重ねる、管。				廣田	
11/30 22:20		封大齋	主祭場	撥橋				白布を箱上に広げ、地面まで垂らす。念誦				廣田	
11/30 22:20		封大齋	主祭場			会首達		主祭場に青詞旗もち集まる。				廣田	
11/30 22:21		封大齋	主祭場		家先衆壇前	主醮師		碗水、劍もち、唱えごと、罡歩、管。				廣田	
11/30 22:23		封大齋	主祭場			会首達		円く跪く。				廣田	
11/30 22:24		封大齋	主祭場	撥加職兵撥補充兵		保拳師 II・証盟師 II		会首名簿よみ、白布の上に管、白布を祭壇に戻す、紙銭を燃やす、酒つぐ、唱えごと、管。				廣田	父：加職 祖父：補充
11/30 22:35		封大齋	主祭場			夫人達		集まる、円くしゃがみ、主醮師の渡した碗の水を回し飲む。				廣田	
11/30 22:42		封大齋			家先衆壇前	主醮師		赤いベストを着ける、頭に神像を付け、背中に白い布、唱えごと。				廣田	
11/30 22:45		封大齋				主醮師		外の文台に移動。開天門				廣田	
11/30 22:46		封大齋		封大齋開天門	文台	主醮師		唱えごと、疏篋(紙錢・紙馬・疏文・線香)を燃やす、管、吹牛角。				李	「封齋表」「封齋疏」を燃やす。
11/30 23:36		封大齋		謝師	家先衆壇前	主醮師		唱えごと、赤い上着脱ぐ、紙銭燃やす、管。				廣田	
11/30 23:43		【作業】				執香師		祭壇上に白布並べる。				廣田	
11/30 23:00頃		【作業】						正面の棚の奥に、杉皮で壁を作る？*(廣田)				吉野	*
12/01 23:53		認三清	主祭場			主醮師・会首		神画を出す、ABCとマークし所有者をあらわす。				廣田	
12/01 00:07		認三清						神画を正面・左・右に裏返して掛ける。				廣田	
12/01 00:11		認三清	主祭場					白布を出す、正面神画前の机の上に置く。				廣田	白布：長さ1尺2寸？*
12/01 00:14		認三清	主祭場					床の敷物の上に布団を敷く。				廣田・李	
12/01 00:19		認三清	主祭場裏			夫人		酒甕の前に並んで立つ。				廣田	甕には少量の酒。
12/01 00:20		認三清				主醮師・引度師・会首		布団に入る、靴脱ぐ、頭が外、足祭壇。				廣田・李	

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/01 00:22	認三清								真っ暗にし、いびきかき寝ている様子にする(会首)。	廣田	
12/01 00:23 ~	認三清								コケッコーと笛(漢族のソーナと同じ)で11回鳴らす。3回鳴く→チャッチャッチャとシンバルで羽根が鳴る音→4回鳴く→羽根の音→4回鳴く→起床。	廣田・広川	本来は10回。
12/01 00:28 ~	認三清	起早							起き出す、靴履く。	廣田・李	
12/01 00:29	認三清	封酒壇							真の夫人に壁を越え白布の端をこちらに残し反対の端をわたす。	廣田	夫婦のユニットを明確にする。
12/01 00:29	認三清	巧婦						夫人	白布を受け取り布の端を酒甕の上にとたんでおく。	廣田・李	
12/01 09:09	【作業】	祭場前広場						会首・夫人	疏巻を入れる為、紙の箱に裏紙を貼る。	廣田	
12/01 09:30	【作業】	書表師作業場						書表師	対聯をかくA-4の儀礼テキスト「第十二花牌白紙」の前を写す。	廣田	
12/01 09:45 ~	【作業】	紙縁師作業場							総壇師のノートを見ながら紙縁師・他1名と相談。	廣田	
12/01 09:54	【作業】	主祭場						主醮師・引度師・座壇師	儀礼テキスト見ながら相談。	廣田	
12/01 09:59	【作業】	紙縁師作業場						主醮師・総壇師・紙縁師	「秦清詞財馬」(A-15)部分を示しながら相談。	廣田	
12/01 10:20 過ぎ	出掛蓋	主祭場						祭司達・書表師・座壇師・証盟師・総壇師・執香師	壇に向かって拝礼。供物の盆(油揚げ・酒)が運ばれ、法師達も口にする。	吉野・李・廣田	(出掛蓋) li`sin`
12/01 10:45	【作業】	紙縁師作業場						紙縁師	紙銭作る。	廣田	
12/01 11:00 過ぎ	【作業】	主祭場							主祭場の正面の棚の奥に壁を作る。杉皮を用い、壁を作ってゆく。	吉野	
12/01 11:23	【作業】	書表師作業場						主醮師	天上につるす対聯に切り紙を作る。	廣田	
12/01 11:40	【作業】	裏広場						法師・会首	竹細工を行う、開天門使用かがり火の台及び天橋の台。	廣田	(分掛吊) pung kwaa- diou.
12/01 11:46	【作業】	主祭場	做十二宮門 做十二宮対					証明師弟子・保拳師II等	正面祭壇作る。対聯も作る。		
12/01 12:00 頃	上掛吊	主祭場							対聯・票・牒・榜文を天井に張りわたす。	廣田・吉野	(分掛吊) pung kwaa- diou.
12/01 12:10 頃	上掛吊	書表師作業場						主醮師	文榜と花牌の端を図案(切り絵)にする。図案は、蜘蛛・田魚(スッポン)・鯉・蜈蚣(ムカデ)・雄鶏の尾羽。	李	
12/01 13:00	上掛吊	主祭場・祭場前広場							天橋を造る。	廣田	
12/01 14:40 頃	上天橋								天橋を架ける。	吉野	(天橋) tin`ciou`
12/01 14:55	上天橋								一番目の天橋完成。	吉野	
12/01 15:44 ~	上天橋	主祭場							祭壇を設える。	廣田	(対聯・【火+壳】灯・神牌等)
12/01 15:45 頃	上陰橋								陰橋を造る。しかし、いったん外して、大道橋を付け直す。	吉野	向かって左側、布の天橋には、大道橋が乗っている。付け直した理由は大道橋の方が短い為。
12/01 16:15	上陰橋	主祭場							陰橋を張る。	廣田	
12/01 16:20	上陰橋								陰橋完成。	吉野	

2. ヤオ族度戒儀礼程序

12/01 17:15～ 17:30		主祭場	祭司達	神牌位＝五色花牌を置いてゆく。 主祭場の中心に置かれた食卓につく、酒、豆 廊。	吉野 廣田・吉野	
12/01 17:16	喝落脚酒		書表師	煙草を配る。	吉野	
12/01 17:17	喝落脚酒		主醮師	テキスト無し念誦	吉野・廣田 吉野・廣田	儀礼の内容を念誦。 陰陽の師父が共食。
12/01 17:30	喝落脚酒			箸を酒に付けて散酒。	吉野	この式目は du ^h su ^h lai ^h chua ^h ti ^h
12/01 17:31	喝落脚酒		主醮師	念誦終わり。	吉野	
12/01 17:35				花楼を中央に移す。	吉野	
12/01				花楼の中の笛とシンバルを下におろす。	吉野	
12/01 17:38	求師			爆竹を鳴らす。	吉野	
12/01 17:40頃	求師	花楼前	主醮師	念誦打答。	吉野	
12/01 17:40	求師	主祭場	法師達	神画を表に向けてる。	廣田	
12/01 17:45～	求師	花楼前	主醮師	中央の花楼前で念誦。	廣田	
12/01 17:50頃	求師	家先壇前	引度師	念誦	吉野	いずれも小声。
12/01 17:58	求師	家先壇前	引度師	家先壇に紙馬を供す。	吉野	
12/01 18:00	求師	分紙馬	引度師	了	吉野	
12/01 18:32			執香師	壇の上に4組設える。	吉野	
12/01 18:20頃	勅羅鼓		主醮師	ドラに勅水、牛角に勅水。符・罡歩・管。	吉野・廣田	勅羅羅鼓の罡歩。
12/01 18:20	【準備】	主祭場	祭司・会首等	法服に着替える。	廣田	
12/01 18:27	【準備】	主祭場	師男	正装して花楼前に並ぶ。	吉野	
12/01 18:30	拝五方昇羅鼓	主祭場	主醮師等 祭司・会首・衆隊	主醮師を先頭として列をなし、花楼の周りを巡る。その後、主祭場を出て、雲台へ行き、雲台の周りを巡り、主祭場へ戻り、また花楼の周りを巡る。ドラ・太鼓・シンバル・笛。	吉野・廣田	此を串壇という。 (串壇) tsong tong ^h 昇羅鼓は通天門五方にしらせ る。
12/01 18:37	拝五方昇羅鼓	雲台	祭司・会首・衆隊	雲台をぐるぐる回る。走団魚文台と内壇前を五方五位で回る。	廣田・李	走団魚 tsun du
12/01 18:45	拝黄幡・拜白幡	主祭場前広場	祭司・会首・衆隊	雲台から戻り陰と陽の天橋を回る。	廣田	
12/01 18:47		主祭場	祭司・会首・衆隊	祭壇に礼。	廣田	
12/01 18:48	跑堂	花楼前	祭司・会首・衆隊	花楼の周りを回る。 主醮師と会首達は主祭場の各神壇へ拝礼する。功曹壇へも。	廣田	亀形に回る。亀を縛り、背中に背負い、家にもって帰り繩を解き、食べ、排泄し団圍の内容を表現する。
12/01 18:57	跑堂	花楼前	祭司・会首・衆隊	花楼前で礼、2人で背中合わせになる、花楼五方でしやがんで礼。	廣田	
12/01 19:01	跑堂	四府功曹	祭司・会首・衆隊	四府功曹前で礼、法服脱ぐ。	廣田	
12/01 19:05～ 19:14	跑堂	花楼前	主醮師	紙銭燃やす、管。	廣田	
12/01 21:08	請初夜聖	出排蓋	執香師	ドラを打ち鳴らす。	吉野・廣田	
12/01 21:25	請初夜聖	主祭場	規縁師*・茶酒師	神位に線香を上げ、水酒を並び、ドラを3回打つ。	李	吉野・李で調査必要。
12/01 記述無し	請初夜聖		茶酒師・引度師・紙縁師・証明師・座壇師・執香師・吹笛師	“願席”。“願席”後に儀礼を行う。	李	*

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/01	記述無し	請初夜聖				保奉師・保奉師II 証盟師・証盟師II	弟子は保奉師に代わって法服を着る。 弟子は証盟師に代わって法服を着る。		李	*
12/01	記述無し	請初夜聖				保奉師・保奉師II 証盟師・証盟師II	会首達の名簿を唱え、焼紙銭、管。		李	*
12/01	21:25	請初夜聖			家先壇前	総壇師・座壇師	念誦		吉野	*
12/01		請初夜聖				引度師	念誦		吉野	*
12/01	21:33	請初夜聖				執香師・証盟師 吹笛師・打羅師			吉野	*
12/01	21:42	請初夜聖					ドラが打ち鳴らされる。(請聖)の(起根)(開始)。		吉野	(請聖) tshing sing (起根) khou kwoen 吉野・李で調査必要。
12/01	21:47	請初夜聖	主祭場			茶酒師	酒が振る舞われる。		廣田	
12/01	21:49	請初夜聖				証盟師・座壇師・ 保奉師・座壇師II・ 紙縁師	ドラ・鉦鳴。		吉野	正装(紅服・神冠)。 主醜師・書表師・総壇師は正装せず。
12/01		請初夜聖	主祭場	請聖			正装する一火のついた線香をもち壇前で拝礼。		吉野	
12/01		請初夜聖		請聖		証盟師・座壇師・ 保奉師・座壇師II	線香と牙筒と鈴をもち、拝礼・回舞。立札と跪 礼を繰り返す。拝礼の1セットごとに線香を新 しい物に替える。①正面壇と花楼②正門へ向 かって③再度正門に向かって④東方へ向かっ て(孔子牌か？)⑤正面壇へ向かって⑥線香 はもたず、正面壇へ向かって、西方へ向かっ て、正面壇へ向かって。	吉野		
12/01		請初夜聖		請聖	家先壇前	主醜師	証盟師らが拝礼・回舞を行っている間、家先 壇前で念誦。		吉野	
12/01	22:05	請初夜聖		請聖		引度師・証盟師・ 座壇師・保奉師・ 座壇師II・紙縁師	法服に着替える。		廣田	
12/01	22:10	請初夜聖	主祭場	発功曹	功曹祭壇前	壇師	功曹祭壇に四府の面掛ける。		廣田	
12/01	22:13～	請初夜聖	主祭場	請聖	正面祭壇前	証盟師・座壇師・ 保奉師・座壇師II	正面祭壇に向かって線香・牙筒・剣・鈴もち 舞う。		廣田	
12/01	22:17～	請初夜聖	主祭場	発功曹	四府功曹祭壇前	引度師・紙縁師	功曹祭壇に向かって線香・牙筒・剣・鈴もち 舞う。		吉野・廣田	神前に跪くところには紙が敷い てあった。昇香舞
12/01	22:28～ 23頃まで	請初夜聖	主祭場	請聖	右上花楼前	証盟師・保奉師・ 座壇師・座壇師II	右上花楼に向かって牙筒・剣・鈴もち礼、舞う。		廣田	
12/01	22:20～	請初夜聖	主祭場	請聖	家先衆壇前	主醜師	家先衆壇に向かい唱えごと、管、酒つぐ。		廣田	
12/01	22:55～ 23:30まで	請初夜聖		請聖	家先衆壇前	総壇師	会首の名簿よむ。念誦。		廣田	
12/01	22:55～ 23:30まで	請初夜聖		請聖		4人	壇前の4人、花楼に拝礼。		吉野	
12/01	22:31	請初夜聖		請聖			正面に向かって拝礼、線香は四府功曹壇と太 歳壇へ供える。		吉野	
12/01	22:35	儀礼名は？ *			孔子神位		孔子神位へ向かい拝礼。線香は孔子神位へ 供える。		吉野	
12/01	22:37	儀礼名は？ *			正面祭壇前		再び、主壇に向かい拝礼。		吉野	拝礼時に線香無し。

2. ヤオ族度戒儀礼程序

12/01 22:37	発功曹				四府功曹壇前	2人	主壇に向かい拝礼している間、四府功曹壇前の2人は稽鈴を続ける。			吉野・廣田	排香舞・昇香舞。
12/01 22:46	請初夜聖	花楼			花楼		花楼へ向かって拝礼。			吉野	拝礼時に線香無し。
12/01 22:47	請初夜聖	正門			正門		正門に向かって拝礼。			吉野	
12/01 22:49	請初夜聖	正面祭壇前			正面祭壇前		再度壇前に向かって拝礼。終了			吉野	四府功曹壇前は未だ終了せず。卓上の米の上に「表」あり。
12/01	【作業】					総壇師・引度師	総壇師来たりて引度師と相談。			吉野	
12/01 22:59	請初夜聖	下禁壇			家先壇	主離師	気がつくくと、家先壇前でしゃがんで読誦。地面を掘っている。			吉野	
12/01	請初夜聖	過馬槽	ここに入るか？*			引度師	吃齋等を会首達に指導 初夜聖の中で行えばよい。			廣田	
12/01	請初夜聖	請聖			家先壇	総壇師	主離師の横で別の念誦。			吉野	*
12/01 23:00	発功曹				四府功曹前	引度師	引度師の念誦終わらず。			吉野	四府功曹壇には4通の表あり*
12/01 23:51	発功曹				四府功曹前	引度師	読誦	発功曹のテキスト		吉野・廣田	経文の各頁の冒頭部分「北極紫微大帝…」 「天府一界…」 「有禮無礼…」 「地府八殿…」 *
12/02 00:00過ぎ	請初夜聖	請聖			家先壇	総壇師	念誦終わらず。			吉野・廣田	*
12/02	請初夜聖					引度師				吉野	*
12/02 00:15頃まで	請初夜聖					総壇師	「伝度白榜」を読誦。			吉野	*
12/02 00:20	發功曹					引度師	發角			吉野・廣田	伝陰放陽を通知*。
12/02 00:20	請初夜聖					主離師	引度師とは別の経文を読誦。			吉野	*
12/02 00:30	發功曹					引度師・紙縁師	読誦終了。正装脱ぐ。			吉野・廣田	*
12/02 00:40	請初夜聖					主離師	紙銭を燃やす。			吉野	*
12/02	請初夜聖						夜食			吉野	*
12/02	請初夜聖					執香師	正面祭壇に笹を供える。			廣田	*
12/02 02:32頃	請初夜聖						再開			吉野	*
12/02	請初夜聖	下禁壇			家先壇	主離師	「請聖書」を読誦。 紙銭丸めめる、管、家先壇前地面に何か埋める、その上に紙銭積む、燃やす、念誦、テキストよむ。	請聖書		吉野・廣田	“下禁壇疏文”を念誦。邪教をおさめる*。
12/02	請初夜聖					執香師	主離師の読誦の間、灯明を整える。			吉野	*
12/02	請初夜聖	清浄花角			花楼	証盟師II	花楼で念誦。師男達の家先軍を読み上げている。酒つぐ、紙銭積む、テキストよむ、水碗と剣をもちよむ、呪符、念誦、管、東西南北に散水、念誦。			吉野・廣田	*
12/02 03:45～03:47	請初夜聖	解纒			孔子壇	総壇師	慶陽疏に勅。厨房の竈で燃やす。			吉野・廣田	*
12/02	請初夜聖	清浄花角			花楼	証盟師II	門口で散水、入り口の左右に呪符をかく、正面祭壇に向かっても散水、念誦、發角。			廣田	*
12/02	請初夜聖	清浄花角 七声鳴角			正面祭壇前	座壇師	テキスト読誦。	A32a 楊柳枝～第三請前まで。		廣田	*
12/02 04:12頃	圓滿跑堂				花楼	会首達	会首達が主離師の先導で花楼の周りを回る。→四府功曹、刀山先師、→各神位を拝し、花楼の周りに集まり終了。			吉野	*
12/02	請聖				祭壇正面	保拳師II	テキスト読誦。	テキストは撮影した者の中にはない。		廣田	

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/02 10:10	上光	主祭場	執香師	線香あげる。	廣田・広川	この段階で家先堂前に埋め跡あり(午前九時撮影の写真あり)。後に主師が廻り出す位置からしても既に落禁壇が行われたものと考えられる。
12/02 10:13	上光			ドラを鼓す。	吉野	卓上の表疏 「請聖大疏」 「請聖請状一函文引」 「呈進師入壇啓建修設謹状」 「保安新承弟子…」 主祭場中央に花楼。
12/02 10:20頃	【記述】				吉野	
12/02 10:22	上光	主祭場	書表師 II	盆供える(3回)。 白簾帯作る。	吉野・廣田 廣田	
12/02 10:29	上光	書表師作業場				
12/02 10:35～11:20	上光			ドラを鼓す。		
12/02 10:30	上光	花楼	証盟師	花楼で念誦。家先単を読んでいる。	廣田	
12/02 10:30	上光	花楼前	証盟師 II	礼、唱えごと、紙銭置く、酒つぐ。会首名簿よむ。	廣田・吉野	
12/02 10:35	上光	花楼前	吹笛師・執香師・茶酒師・鼓師	法服を着る。	廣田	4人は引光童子。
12/02 10:35～11:20	上光	主祭場	吹笛師・執香師・茶酒師・鼓師	4人の祭司が花楼前に整列。牙簡もち、鈴鳴らす、紙銭置く、礼拝、会首の名簿よむ。拜師舞・上光舞・羅帯舞・神頭舞。	廣田・吉野	
12/02 10:35～11:20頃	上光	主祭場	総壇師・座壇師・保拳師 II・座壇師 II	壇前で、4人が歌を唱す。	吉野・廣田	
12/02 12:21～12:38	上光	主祭場	座壇師	1杯の酒を外に向かってかけ、師父に献ずる。 分紙、焼紙。	廣田	
12/02 12:58	上光	主祭場	笛吹師・執香師・茶酒師・鼓師	法服脱ぐ。	廣田	
12/02 11:16	上光	書表師作業場	書表師 II	文書の名簿をうつし、星表うめる。	廣田	
12/02 11:20～12:58	上光	主祭場	吹笛師・執香師・茶酒師・鼓師	鈴・牙簡もち振る。	廣田	
12/02 11:50～12:38	上光	主祭場	座壇師・保拳師 II	儀礼テキストよむ、会首の名簿よむ、法師の名簿よむ、紙銭つむ、燃やす、管。	廣田	
12/02 15:08	開壇	主祭場	座壇師	「公王出世」読誦。 札にU字型に8つの蓋2組置く。	吉野・廣田 廣田	A32a
12/02 15:08	開壇	主祭場	主離師・座壇師等	儀礼テキストうたう。執香師、鼓樂師3人給振る、勿もつ。	廣田	「公王出世」「三清」「盤王出世」 A32a
12/02 15:42	初夜黄表開天門	主祭場	引度師	唱えごと、紙銭積む、会首の名簿よむ、酒つぐ。	廣田	

2. ヤオ旗度戒儀礼程序

12/02	初夜黄表 開天門	回兵	家先衆壇前	会首	ドラ・シンバル・太鼓・笛鳴らす。	廣田		廣田	本来は祭司が行うが代理で行っている。
12/02 15:48	初夜黄表 開天門	回兵	正面祭壇前	会首	兵器のレプリカもち、鈴鳴らし、舞う。回兵舞	廣田		廣田	
12/02 15:52	初夜黄表 開天門		主祭場外広場 文台	引度師・証盟師Ⅱ	発角、唱えごと、管、証盟師弟子籠に紙銭入れる、書表師文書を載せる。引度師ヲキキト詠誦、太鼓敲き、唱える、文書燃やす、管、手訣、発角、剣、礼。	廣田	初夜黄表、文引	廣田	初夜表は陰師父への報告。
12/02 16:06	初夜黄表 開天門		主祭場	祭司4人	根もち鐘鳴らす、棍をもち回る。	廣田		廣田	
12/02 16:06	初夜黄表 開天門		家先衆壇前	法師	うたう、紙銭積む。	廣田		廣田	
12/02 16:49	初夜黄表 開天門		主祭場	引度師	礼、紙銭燃やす。	廣田		廣田	
12/02 17:03	初夜黄表 開天門		主祭場		紙銭燃やす。	廣田		廣田	
12/02 17:15	初夜黄表 開天門	謝陰師*	主祭場			廣田		廣田	
12/02 17:15	開壇(安途 落馬)(合兵 合将)	小運銭		吹笛師・執香師・ 茶酒師・鼓師	揺鈴	廣田		廣田	合兵合将でもある。
12/02 17:15	開壇	小運銭	正面祭壇前	座壇師	机の上の酒盞に酒つぐ、唱えごと、会首の名 稱よむ、管、紙銭燃やし、蓋をふせる。	廣田		廣田	
12/02 17:17	開壇	修齋	正面祭壇前	執香師・茶酒師・ 吹笛師・鼓師	鈴、棍もち舞う、師棍舞。途中から主齋師吹 笛師に変わる。	廣田	A30a 収齋歌	廣田	
12/02 17:17	開壇	脱童		執香師・茶酒師・ 吹笛師・鼓師	また4人で鈴振る。長衫を脱ぐ。	廣田	A30a 脱童	廣田	
12/02 17:17	ペンディング*			主齋師	紙銭置きつつ唱えごと。	廣田		廣田	
12/02	ペンディング*			*	会首の名簿をよむ。				
12/02 17:52	回兵		正面祭壇前	座壇師・保拳師Ⅱ	兵器のレプリカを束にしたものと鈴をもち舞う。 これを回兵舞(收兵舞)という。	廣田		廣田	黄表の護兵が帰って来る。
12/02 18:00			書表師作業場	書表師	儀礼ヲキキ見つつ「陞職位」13枚作る。	廣田		廣田	
12/02 19:50			主祭場		線香、酒を供える。	廣田		廣田	
12/02 20:35頃	補掛三灯	請師	花楼	主齋師	念誦。	吉野		吉野	
12/02 20:40	補掛三灯	請師	花楼前	主齋師	酒つぎ、唱えごと、会首の名簿をよみ、紙銭 を落とす、ヲキキよむ。	廣田		廣田	師父18人(祖父・おじ・父・ 掛三灯時の4人・度戒時の 12人)の名呼ぶ。
12/02 20:57	補掛三灯			主齋師	「伝灯用変水」を誦誦。	吉野		吉野	掛灯会首の法名：法青(8)・ 法右(2)・法維(9)・法官(6)
12/02 21:00	補掛三灯	勅饗	正面祭壇前	主齋師	箱の中の米布及腰掛けを水と剣で聖なるもの に変える(変水のヲキキ内容による)? *	吉野・廣田	A32b 伝灯用	吉野・廣田	A15bにもあり。
12/02 21:00	補掛三灯		正面祭壇前	座壇師	儀礼ヲキキよむ。	廣田	A32b	廣田	
12/02 21:07	補掛三灯	昇饗	正面祭壇前 →門	座壇師・証盟師Ⅱ	法服・法冠をのせた腰掛けを入り口に向かっ て運ぶ、師棒を椅子に差し込み運ぶ、入り口 付近で外に向かい礼、2回、ドラ・シンバル・笛。 油を盞に入れる。	廣田	口の中で念誦。	廣田	
12/02 21:11	補掛三灯			執香師		廣田		廣田	

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/02 21:14	補掛三灯	昇機		主醮師	唱えごと、機とともに。	テキストなし。当日当地でいかなる機を昇するか？太上老君の機に座り、太上老君の飯を食べ、太上老君の路を歩き、太上老君の衣を着る。			天神・七星北斗・四府功曹・本方地主が来て証盟してくる。
12/02 21:20	補掛三灯	昇機		総壇師	4人の法名の紙をもつ、主醮師とともに。			廣田	
12/02 21:16	補掛三灯	昇機		座壇師・証盟師Ⅱ	機子をもつて祭壇に向かって拝礼。			廣田	
12/02 21:16	補掛三灯	昇機		執香師	祭壇に線香供える。			廣田	
12/02 21:28	補掛三灯	昇機		座壇師・証盟師Ⅱ	機を並べる。			廣田	
12/02 21:28	補掛三灯	穿衣	主祭場	座壇師・執香師・紙線師手伝い・会首(2・6・8・9)	法眼に着替える、ターバン・法冠着ける。			廣田	
12/02 21:30	補掛三灯		主祭場	紙線師	灯明に点火。				
12/02 21:34 ~ 22:00	補掛三灯	踏蓮花	主祭場	会首	機に座る、靴の下に碗。			廣田	
12/02 21:39	補掛三灯	収祭	主祭場	主醮師・総壇師・証盟師Ⅱ・座壇師	紙銭をもつて丸めつつ唱えごと、丸めた紙銭を頭越しに外方へ投げる。			廣田	天然と地紙 124 種の紙を収める。用紙収祭→丸めて外に捨てる。
12/02 21:44	補掛三灯	藏身隠隠	主祭場	座壇師・証盟師Ⅱ	機に座った会首の周りを回る。会首の周りを空をなでるように所作し、回る。			廣田	時計逆にステップを踏み順に自転しながら、手を広げ閉じつつ。
12/02 21:44	補掛三灯	昇灯	主祭場	総壇師	法名が書かれた紙をもつ、「抽灯用」を唱える。	抽灯用 A32b		廣田	還家願と同じ。
12/02 21:44	補掛三灯	昇灯	主祭場	主醮師	念誦。総壇師と主醮師は別のテキストで同様の内容を念誦している。	主醮師：A32b「昇灯」「解厄」		廣田	三灯の意味：1 祖宗（伝宗様代）、2 本身（本命灯）、3 師父（保佑灯）。
12/02 21:52	補掛三灯	昇灯	主祭場	座壇師・証盟師Ⅱ	灯明の蓋を盆にのせ、もつ。				
12/02 21:53	補掛三灯	昇灯	主祭場	座壇師・証盟師Ⅱ	盆にのせた灯明を門口まで運び、外へ向ける。			廣田	
12/02 21:58	補掛三灯	昇灯	主祭場	座壇師・証盟師Ⅱ	灯明の盆をもつたまま座壇師は東側から、証盟師Ⅱは西側から、各神画を指さし拝礼。掛灯の証盟を願う。				二人が東と西とから各神画の神々に誰がどの灯火（三灯のそれぞれ）を掛灯したかを太上老君に対して証盟してもらうよう拝礼する。
12/02 21:58	補掛三灯	掛灯	主祭場	主醮師	唱える			廣田	
12/02 22:00	補掛三灯	掛灯	主祭場	座壇師	地面に竹の灯架を差す。			廣田	
12/02 22:04	補掛三灯	掛灯	主祭場	座壇師	灯火を灯架に掛ける。			吉野	
12/02 22:12	補掛三灯	掛灯	主祭場	主醮師	会首に向かって唱えごと。			廣田	6 会首に対応。
12/02 22:13	補掛三灯	掛灯	主祭場	証盟師Ⅱ・座壇師	会首に向かって手訣。			廣田	証盟師弟子：8 会首に対応。 座壇師：9 会首に対応。老君訣
12/02 22:17	補掛三灯	掛灯	主祭場	座壇師・証盟師Ⅱ	鈴振り牙簡もち、儀礼テキストをよみつつ右回りに回る。手訣。			廣田・広川	時計回りに。革張のテキスト
12/02 22:20	補掛三灯	掛灯	主祭場	主醮師	「解厄」を唱える、筈。			廣田	
12/02 22:17	補掛三灯	掛灯	主祭場	総壇師	会首に向かって儀礼テキストよむ、手訣、筈。			廣田	2 会首に対応。
12/02 22:24	退灯	掛灯			終了			吉野・廣田	

2. ヤオ族度戒儀礼程序

12/02 22:25	補掛三灯				証盟師								吉野	
12/02 22:26 ~ 23:42	補掛三灯	撥橋(補橋撥兵)	主祭場	正面祭壇前	法師	会首の膝に白布を広げる。							廣田	足下には米の箱。 ※唱える内容を暗唱
12/02 22:31	補掛三灯	撥橋(補橋撥兵)	主祭場	正面祭壇前	総壇師	管							廣田	
12/02 22:40	補掛三灯	撥橋(補橋撥兵)	主祭場	正面祭壇前	主醮師・総壇師	唱えごと	A32b 撥橋用						廣田	
12/02 22:40	補掛三灯	撥橋(補橋撥兵)	主祭場	正面祭壇前	証盟師Ⅱ・座壇師も？*	それぞれに管。							廣田	卦認定。
12/02 22:40	補掛三灯	撥橋(補橋撥兵)	主祭場	正面祭壇前	総壇師・主醮師・証盟師Ⅱ・座壇師	それぞれ唱えごとをしつつ、管。							廣田	
12/02 22:55	補掛三灯	分兵	主祭場	正面祭壇前	総壇師・主醮師・証盟師Ⅱ・座壇師	米と銭を鈴に入れて布に入れる。	A32b 分兵用 この他、「定陰陽」						廣田	陽卦・撥、陰卦・保、聖卦・認。 銭は師父の銭を貰う意。
12/02 22:58	補掛三灯	分兵	主祭場	正面祭壇前	総壇師・主醮師・証盟師Ⅱ・座壇師	布を切って包む。管							廣田	
12/02 23:00	補掛三灯	吹付定米 (吹 luting 米)	主祭場	正面祭壇前	総壇師・主醮師・証盟師Ⅱ・座壇師	米を牙筒に置く。その米を吹いて会首の口に入れる。							廣田	
12/02 23:01	補掛三灯	吹付定米 (吹 luting 米)	主祭場	正面祭壇前	会首	師父に吹き入れられた米を飲む。							廣田	
12/02 23:03	補掛三灯	定陰陽	主祭場	正面祭壇前	会首	7枚の小銭を鈴に入れ投げ裏表を見る。三陰四陽となるまでやる。9 会首なかなか揃わず。							廣田	硬貨の数字が書いてある方が陽、模様を描いてある面が陰。
12/02 23:12	補掛三灯	定陰陽	主祭場	正面祭壇前	祭司	唱えごと							廣田	神明に対して、三陰四陽が揃うよう願う。
12/02 23:20	補掛三灯	退蓮花	主祭場	正面祭壇前	祭司	碗を足から外す。							廣田	9 会首から戻させる。
12/02 23:21	補掛三灯	接香炉	主祭場	正面祭壇前	座壇師	家先衆壇にあった香炉をもって行って、会首に置く。							廣田	文献中には接水碗もあり。
12/02 23:22	補掛三灯	学打羅	主祭場	正面祭壇前	座壇師	ドラの叩き方を示し、会首にドラを叩く練習をさせる。							廣田	
12/02 23:24	補掛三灯	学吹牛角	主祭場	正面祭壇前	主醮師	根をもち、牛角を鳴ら素練習をさせる。							廣田	
12/02 23:25	補掛三灯	学用卦	主祭場	正面祭壇前	主醮師	打管の練習をさせる。							廣田	
12/02 23:26	補掛三灯	学用鈴	主祭場	正面祭壇前	会首	牙筒をもち、鈴を鳴らす練習。							廣田	白布は橋布であり、布を以て橋の代わりとする。
12/02 23:26	補掛三灯		主祭場	正面祭壇前	主醮師	儀礼ヲキスト読誦。	A32b p.20						廣田	
12/02 23:28	補掛三灯	抬轎子	主祭場	正面祭壇前	主醮師・証盟師・総壇師・座壇師	主醮師唱えごと、師棒もち会首の両脇をはさみ 2人ずつ立たせる。							廣田	
12/02 23:31	補掛三灯	学走罡歩	主祭場	正面祭壇前	会首	「七星罡」を学ぶ。布の上の7枚の小銭を踏み罡歩の練習。							廣田	
12/02 23:33	補掛三灯	学舞学揺鈴	主祭場	正面祭壇前	会首	鈴と牙筒をもち振る。							廣田	
12/02 23:34		跳謝神舞	主祭場	正面祭壇前	会首	謝神舞を舞う。							廣田	
12/02 23:34	補掛三灯		主祭場	正面祭壇前	座壇師・主醮師	儀礼ヲキストを読誦。	A32b						廣田	
12/02 23:42	補掛三灯					終了【総壇師・証盟師・主醮師がそれぞれに…】。会首は正装脱ぐ。盆供える。							吉野・廣田	
12/03 09:05	出排蓋		主祭場										廣田	総壇師・座壇師は普段着のまま。
12/03 09:10頃	請中夜聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	座壇師Ⅱ・弟子*・保奉師Ⅱ・茶酒師	4人の師哥が長杉法服を着る。							吉野	

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/03 09:19	請中夜聖	請聖	主祭場	家先衆壇前	総壇師・座壇師・ 証盟師Ⅱ・引度師	読誦。総壇師は会首名簿を読誦。 香を供える。	テキストなし。	吉野	
12/03		進香	主祭場	正面祭壇	4人師哥	右手に牙笏をもち、揺鈴。		吉野・廣田	
12/03 09:19	請中夜聖	儀礼名は「頌 無い。「頌 銭回去」 はない。 の儀礼で ある。	主祭場	花楼前	主齋師	唱えごと、紙銭積む、笏、燃やす。		廣田	初夜道場と掛三灯で供してま た焼いていなかった紙銭を燃 やしている。
12/03 09:20	請中夜聖		主祭場	正面祭壇前	書表師	正面祭壇に疏文供える。		廣田	すでに覚えている祭司は念誦 している。テキストが長いので、 分担して唱えているのである。 A20「請聖書」最初から読誦。
12/03 09:25	請中夜聖	請聖	主祭場	主祭場	総壇師・座壇師・ 証盟師Ⅱ・引度師	また念誦。	A20「請聖書」最 初から読誦。	吉野・廣田	
12/03		請聖	主祭場	主祭場	主齋師	念誦に加わる。		廣田	
12/03		請聖	主祭場	主祭場	会首	正装して正面祭壇前に弧形に並び跪く。		廣田	
12/03 09:29	請中夜聖	請聖	主祭場	主祭場	書表師	「請聖大疏」を読誦。		吉野	
12/03		請聖	主祭場	主祭場	会首	会首立ち上がり、解散。		廣田	
12/03 09:30 09:30頃? *	請中夜聖	請聖			証盟師Ⅱ	また念誦。		吉野・廣田	総壇師、座壇師、証盟師の3 名が念誦。
12/03 09:31	請中夜聖	請聖		花楼	主齋師	花楼で昨日(分紙)(紙銭を供える)した紙扛 を焼く。		吉野・廣田	
12/03 09:32	請中夜聖	請聖	書表師作業場		書表師	会首の名簿を見ながら文書作成。		廣田	
12/03 10:06	請中夜聖	請聖	主祭場		吹笛師	太上老君印を彫る。		廣田	
12/03 09:44	請中夜聖	請聖	主祭場		主齋師	右端の机で管作る。		廣田	
12/03 09:35頃	請中夜聖	請聖			書表師	3通の疏表文を壇上の米の入った碗に立てる。		吉野・廣田	
12/03 09:38	請中夜聖	請聖			総壇師	退く。		吉野・廣田	
12/03	請中夜聖	請聖			引度師	総壇師の代わりに念誦。		吉野・廣田	
12/03 09:40	請中夜聖	請聖			証盟師Ⅱ	(笏角)(角笏を吹く)		吉野・廣田	
12/03 09:43	請中夜聖	請聖			総壇師	壇向かって右で念誦。手には家先単。		吉野・廣田	
12/03 09:43	請中夜聖	請聖			執香師	(分香)(香を供える)		吉野・廣田	
12/03 09:51	請中夜聖	請聖			総壇師	念誦了。		吉野・廣田	
12/03 09:55	請中夜聖	請聖			総壇師	同所において再び念誦。		吉野・廣田	
12/03	請中夜聖	請聖			座壇師・引度師・ 証盟師	念誦終わり、雑談中。		吉野・廣田	
12/03 10:03	請中夜聖	請聖			座壇師・引度師・ 証盟師	念誦再開。		吉野・廣田	
12/03 10:04	請中夜聖	請聖			総壇師	向かって右端の師哥(座壇師弟子?*)に經 本を渡し、代読誦を依頼。		吉野・廣田	
12/03	請中夜聖	請聖			座壇師Ⅱ・証盟師 Ⅱ	座壇師弟子、その隣の証盟師弟子? *に家 先単を渡し、2人で並行読誦。		吉野・廣田	
12/03 10:16	請中夜聖	請聖			座壇師	念誦了。		吉野・廣田	
12/03 10:20	請中夜聖	請聖			座壇師・引度師・ 証盟師	念誦了。雑談		吉野・廣田	
12/03 10:29	請中夜聖	請聖			保挙師Ⅱ	また念誦了。		吉野・廣田	
12/03 10:29	請中夜聖	請聖			総壇師	来る		吉野・廣田	
12/03 10:35	請中夜聖	請聖			証盟師	念誦再開。		吉野・廣田	
12/03 10:36	請中夜聖	請聖			座壇師・引度師	少し遅れてまた念誦再開。		吉野・廣田	
12/03	請中夜聖	請聖			保挙師Ⅱ	また家先単を読誦。		吉野・廣田	

2. ヤオ旗度戒儀礼程序

12/03 10:56	請中夜聖	請聖		座壇師・引度師・証盟師	念誦終了。				吉野・廣田	
12/03 10:58	請中夜聖	請聖	主祭場	保學師Ⅱ 4人	家先単の説誦終了。 正面祭壇に向かつて並ぶ。			吉野・廣田 廣田		
12/03 11:00	請中夜聖	請聖		主醮師 師哥	念誦打管、唱えごと。 主醮師の念誦打管に併せて立ち上がり、插鈴。			吉野・廣田 吉野・廣田		
12/03 11:03	請中夜聖	請聖			小休止			吉野・廣田		
12/03 11:13	請中夜聖	請聖	主祭場	会首	正面祭壇に向かつて並ぶ。			廣田		
12/03 11:15	請中夜聖	奏疏文		主醮師	「請聖文疏」をもつ。			吉野		
12/03 11:16	請中夜聖	奏疏文		会首達	ミエンの正装をして登場。			吉野		
12/03 11:17	請中夜聖	奏疏文		会首	跪座			吉野・李		
12/03 11:20	請中夜聖	奏疏文		書表師	登場			吉野		
12/03 11:20	請中夜聖	奏疏文		主醮師・書表師	「請聖文疏」の前半部分を読み上げる。その のち、書表師に代わる。			吉野		
12/03 11:21	請中夜聖	奏疏文		主醮師	別の経文を読誦。			吉野		
12/03 11:22	請中夜聖	奏疏文		書表師	疏中の各会首の俗名、法名、生年月日時など を読み上げる。			吉野		
12/03 11:22	請中夜聖	奏疏文			読「大疏」了。			吉野		
12/03 11:49	請中夜聖	奏疏文		書表師	大疏をもって、書表師作業場へ移動。			吉野		
12/03 11:49	請中夜聖	奏疏文	花楼		花楼→主祭場中央に移動。			吉野		
12/03 11:49	請中夜聖	奏疏文	書表師作業場	書表師	「大疏」の修正作業(朱字で)。			吉野		
12/03 11:51	請中夜聖	跑堂		会首	正装して揃う。			吉野		
12/03 11:53	請中夜聖	跑堂		奏樂				吉野		
12/03 11:55	請中夜聖	跑堂	主祭場	主醮師・座壇師Ⅱ・ 弟子・保學師Ⅱ・ 來酒師	花楼の四方を拝してから、一行を先導して、 花楼の周りを何回も回る。			吉野・廣田		帽子・神頭、赤いチョッキを着 て、手にはシンバルをもつ。
12/03 11:55	請中夜聖	跑堂	主祭場	会首達	主醮師に続き回る。			廣田		
12/03 11:59	請中夜聖	跑堂			列は花楼を離れ、各神位前で一々拝礼→刀 山先師位まで。→花楼前に戻る。			吉野		
12/03	請中夜聖	跑堂		書表師	列が花楼を離れ、拝礼し、また戻って来る間、 書表師は「大疏」を再度壇上に戻す。			吉野		
12/03	磨刀	出排蓋			盆を供える。			廣田		
12/03 13:43	磨刀			主醮師・引度師・ 吹笛師・磨刀師(2 人)	礼、7本と6本の刀をそれぞれ束にして白布で 包む。			李		
12/03 13:58	磨刀	磨刀舞	主祭場	主醮師・引度師	拝礼			李		主醮師と引度師、赤い短上着・ 背中に白布・帽子・法冠。
12/03 14:00	磨刀	磨刀舞	主祭場	主醮師・引度師	祭壇に向かい、剣もち鈴を右手で鳴らし、回りつ つ2人でかまむ。刀を背中に担ぐ。太鼓・笛。 外に運び磨刀師にわたす。			廣田・李		
12/03 14:11	磨刀	磨刀舞	主祭場外広場		刀の入った白い布を担いで川沿いの小道を 下ってゆく。雲台の先にある丸太橋を渡って本 道に上がる。道のカーブ辺りで、弟子らしき人 と落ち合う(後追い終了)。オートバイで上流 へ行った。			廣田		封刀・閉刀ではA21の呪言を 唱え、怪我をしないようにする。
12/03 14:11	磨刀			磨刀師				廣田		
12/03 14:12	磨刀		正面祭壇前	主醮師	正面に戻り唱えごと、管。			廣田		
12/03				執香師	打下			吉野		*
12/03				執香師	酒つぐ。			李		*
12/03	中夜道場黄 表開天門		主祭場外広場		爆竹鳴らす。			李		*

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/03 15:10	中夜道場黄表開天門					証盟師Ⅱ・証盟師	会首の名簿よむ、唱えごと、紙銭。			廣田	テキストA15aによれば、本来保拳師が行うものである。
12/03	準備封刀山	主祭場	花楼(四府功曹壇前北向)	主齋師	家先衆壇前	主齋師	A-21よむ。			廣田・李	2回
12/03 15:22	【作業】	書表師作業場	家先衆壇前	書表師	家先衆壇前	書表師	文書(賀刀山文引)の朱点、印押し。			廣田	
12/03 15:27	【作業】	書表師作業場	家先衆壇前	書表師	家先衆壇前	書表師	「謝賀表引」を見つつ、総壇師と相談。			廣田	
12/03 15:34 ~ 17:00 前	中夜道場黄表開天門	祭場前広場		証盟師		証盟師Ⅱ	開天門、証盟師は牛角・棒・剣もつ。証盟師Ⅱ 開天門のテキストA16を読誦している。師父の名を書いた紙。	A16 開天門を行うときにはいつもこのテキストを用いる(主齋師)。		廣田	中夜道場黄表=中夜補充加職黄表。引もある。
12/03 15:38		主祭場	家先衆壇前	主齋師	家先衆壇前	主齋師	唱えごと、会首の名簿よむ、答、紙銭積む。			廣田	
12/03 16:07 頃	中夜道場黄表開天門	書表師作業場	家先衆壇前	書表師	家先衆壇前	書表師	文書の封筒の上に赤紙貼り訂正。			廣田	
12/03 16:15	中夜道場黄表開天門	衆位家先壇前	衆位家先壇前	主齋師	衆位家先壇前	主齋師	念誦。(家先単)を使っていた。			吉野	
12/03 16:30 頃	中夜道場黄表開天門	祭場前広場	祭場前広場	保拳師・証盟師・座壇師・引度師	祭場前広場	保拳師・証盟師・座壇師・引度師	献酒			吉野	
12/03 16:40	謝師父		花楼前	証盟師	花楼前	証盟師	牛角・棒・剣もち、礼。	開天門終了。		廣田	*
12/03 19:20 (19:35)*	【作業】	主祭場	花楼(祭場中央)	主齋師? *	花楼前	主齋師? *	念誦			廣田	テキストなし*。
12/03 19:35	求師	主祭場	花楼(祭場中央)	執香師	花楼(祭場中央)	執香師	紙銭を祭壇に供える、酒も。			吉野	
12/03 19:59	昇刀	主祭場	花楼(祭場中央)	主齋師・引度師	花楼(祭場中央)	主齋師・引度師	花楼中央へ移動。			廣田	
12/03 20:00	昇刀	主祭場	家先衆壇前	書表師	家先衆壇前	書表師	添酒して求師。			廣田	
12/03 20:07	昇刀	主祭場	家先衆壇前	書表師	家先衆壇前	書表師	刀をクロスさせ並べ。			廣田	
12/03 20:12	翻刀山	主祭場	家先衆壇前	祭司・主齋師・その他の人々	家先衆壇前	祭司・主齋師・その他の人々	刀上に赤で十二支の呪符をかく。			廣田	十二支の刀山図。
12/03 20:27	翻刀山	主祭場	正面祭壇	会首	正面祭壇	会首	人々が手を組み、主齋師からその上を回転させられる、意識失い人々介抱。			廣田	
12/03 20:53	翻刀山	主祭場	正面祭壇	会首	正面祭壇	会首	順に続く。			廣田	
12/03 20:56	撥刀山	主祭場	正面祭壇	会首	正面祭壇	会首	花楼、主祭場西南角へ移動。			吉野	
12/03 21:00	撥刀山	主祭場	正面祭壇	主齋師	正面祭壇	主齋師	祭壇に向かつて祖霊の旗もち円く並ぶ。			廣田	「刀山を渡す」という意味。
12/03 21:05	求師	主祭場	家先衆壇前	主齋師	家先衆壇前	主齋師	唱えごと(神と聖と師父に証盟してもらう)。答。			廣田	
12/03 21:09	求師	主祭場	花楼	主齋師	花楼	主齋師	刀を家先衆壇下に運び、刀を布でくるむ。			廣田	
12/03 21:16 ~ 21:34	dou 刀山舞	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師	正面祭壇前	主齋師・引度師	紙銭置く、唱えごと、答。			廣田	dou 刀山に際して、師父に庇護を求める。
12/03 21:22	dou 刀梯舞	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師	正面祭壇前	主齋師・引度師	刀を担ぎ、鈴と右手にもち舞う。誦唱			廣田・吉野	刀を組んで梯子にする舞。同内容の歌。
12/03 21:24	dou 刀梯舞	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師	正面祭壇前	主齋師・引度師	足に向かつて研ぎよ様な動作(磨刀の経過を表現している；主齋師)。			廣田	師父達に dou 刀山を証盟してもらう。
12/03 21:25	dou 刀梯舞	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師	正面祭壇前	主齋師・引度師	外に刀を運び磨刀師にわたす。			廣田	
12/03 21:25	dou 刀梯舞	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師	正面祭壇前	主齋師・引度師	着替える。			廣田	

2. ヤオ族度戒儀礼程序

12/03 21:28	謝師父	主祭場	花楼前	主齋師	花楼前の紙銭燃やす。(師父へ)	廣田	傳陰放陽がうまくいったことを感謝する。
12/03 21:30	謝功曹	主祭場	功曹祭壇前	引度師	紙銭燃やす。	廣田	
12/04 07:51 ~ 08:31	試刀梯	雲台		主齋師・引度師・磨刀師・証盟師・証盟師Ⅱ・保拳師・紙縁師		廣田	
12/04 07:51	試刀梯			磨刀師	刀梯を懸える。	廣田	
12/04 07:52	勅変刀梯			主齋師	念誦し、水剣で刀梯を勅変する。念誦。管(登って良いかどうか認定する)。	廣田	A21「変梯法」
12/04 07:54	試刀梯			主齋師	登り具合を確かめ、登る。	廣田	
12/04 07:58	試刀梯			磨刀師	梯を外し長さの調整をし、また梯を掛ける。	廣田	
12/04 07:59	試刀梯				白布で刀梯を覆う。		
12/04 08:14	試刀梯	見草			盆供物を供える。刀梯を設定した人に肉を振るまう。	廣田	主祭場からもって来る。
12/04 08:22	接刀	主祭場			奏楽	吉野	主祭場から来隊奏楽しなから雲台へ行く。
12/04	接刀	主祭場→雲台			来隊到着。本来は、12会首も接刀に来なければならぬが、来なかつた(主齋師)。		
12/04	接刀	主祭場正面入り口			梯を外し、祭場に運び入り口上部に置く。	廣田・吉野	奏楽・爆竹。
12/04 08:31		主祭場			「伝度白榜」を用しなおす。外に飛んでいた白榜を掛け直した。	吉野	
12/04 10:15		主祭場	家先衆壇前	主齋師・引度師・総壇師	相談	廣田	
12/04 10:19		書表師作業場		書表師Ⅱ	「北極驅邪院醜壇給出新承弟子遊楽衆郷夥牌」に記入。	廣田	
12/04 10:24				書表師	竹の上に「吾奉太上老君勅」と朱字記入。	廣田	
12/04 10:54	出排蓋			祭司全員	文書に朱字入れ印押す。	廣田	
12/04 10:50				祭司全員	師父全員打ち揃い(出排蓋)。	吉野	
12/04 10:54	上光	主祭場		主齋師	師哥(祭司の補助で、正装し拝礼を行う役)遠に正装するよう促す。	吉野	
12/04 10:56	請師	主祭場	花楼(西南角)前	証盟師Ⅱ	花楼前で念誦、酒つぐ、紙銭、名簿よむ。	吉野・廣田	
12/04 11:04	請師	主祭場	花楼(西南角)前	証盟師Ⅱ	会首名簿を読誦。	吉野	
12/04 11:04 ~ 11:06	上光	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師・総壇師・証盟師・座壇師・保拳師らの弟子達6人	会首名簿を読誦。	吉野	
12/04 11:06 ~ 11:53	上光	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師・総壇師・証盟師・座壇師・保拳師らの弟子達6人	長衫法服を着て2列に整列。	吉野・廣田	12会首の願は12あるので、祭祀1人が2人分の願を受け持って儀礼を行う。A19をよむ。
12/04 11:07	上光	主祭場	正面祭壇前	主齋師	礼拝	廣田	*
12/04 11:07	上光	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師・総壇師・証盟師・座壇師・保拳師らの弟子達6人	経文を読誦する。	吉野・廣田	*
12/04 11:07	上光	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師・総壇師・証盟師・座壇師・保拳師らの弟子達6人	牙筒と鈴を手にもって跪拝礼を繰り返す。座壇師Ⅱ、茶酒師? * 神頭を手にもって舞う。		*

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/04 11:13	上光	羅帶舞	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師・総壇師・証盟師・座壇師・保拳師らの弟子達6人	牙簡と鈴を手にもって跪拝礼を繰り返す。座壇師Ⅱ、茶酒師?* 羅帶を手にもって舞う。				*
12/04 11:18	上光		主祭場	正面祭壇前	座壇師Ⅱ・茶酒師?*	神頭を着ける。				*
12/04 11:18	上光	跳聞舞	主祭場	正面祭壇前	座壇師Ⅱ・茶酒師?*・保拳師Ⅱ	舞う。他の祭司達は正装のまま立っている。ド				保拳師Ⅱは神頭を着けず*。
12/04 11:26	上光		主祭場	正面祭壇前	座壇師Ⅱ・茶酒師・保拳師Ⅱ・弟子*・後2人は立ったまま。	牙簡と鈴をもって拝礼。				*
12/04	上光	謝神舞	主祭場	正面祭壇前	座壇師Ⅱ・茶酒師・保拳師Ⅱ・弟子*・他1名	舞う				*
12/04 11:30	上光	謝神舞	主祭場	正面祭壇前	座壇師Ⅱ・茶酒師・保拳師Ⅱ・弟子*・後数人は立ったまま。	牙簡と蓋をもち、揺鈴。				*
12/04	上光	謝神舞	主祭場	正面祭壇前	座壇師Ⅱ・茶酒師・保拳師Ⅱ・弟子*・他1名	舞う	A19 「飛雲走馬入壇前」まで。		廣田	*
12/04 11:34	上光		主祭場	正面祭壇前	座壇師	紙銭に火をつけ、師父達の間を移動。			吉野	*
12/04 11:35	上光	献酒(献三清酒)	主祭場	正面祭壇前	座壇師Ⅱ・茶酒師・保拳師Ⅱ・弟子*・他1名	左手に蓋と牙簡右手に鈴、酒つぎ酒捨てる。	A19 献酒 からよむ。		廣田・吉野	*
12/04	上光	謝神舞	主祭場	正面祭壇前	座壇師Ⅱ・茶酒師・保拳師Ⅱ・弟子*・他1名	舞う。この後献酒と謝神舞を繰り返す。				*
12/04 11:36	上光				座壇師	「接祖師」を誦する。	A19		吉野	
12/04 11:40	上光				座壇師	「接祖師」誦誦終わり。			吉野	
12/04 11:42	上光			花楼(右)	証盟師Ⅱ・総壇師(吉野のメモでは証盟師)*	唱えごと、酒供え、会首の名簿(「法師列名」)を読み上げる。紙銭燃やす。			廣田・吉野	
12/04 11:45	上光				座壇師	念誦(マキト使わず)			吉野	
12/04 11:51	上光				座壇師・証盟師*	念誦終わり。			吉野	
12/04 11:53?	上光			花楼	書表師	花楼に文書を置く。			廣田	
12/04	上光				主齋師・座壇師・証盟師	各々念誦する。			吉野	
12/04 11:57	上光				主齋師	念誦(暗誦)			吉野	
12/04 11:57	上光				座壇師	何らかのマキトを誦す。			吉野	
12/04 11:57	上光				証盟師	「請大堂兵歌」を唱える。			吉野	
12/04	上光				証盟師	「接四府」を誦す。			吉野	
12/04 12:08	上光				証盟師	「接三廟王」を唱える。			吉野	
12/04 12:08	上光				座壇師	「盤王歌」を唱える。			吉野・廣田	
12/04 12:17	上光				証盟師	「接三廟王」を唱え終わる。			吉野	
12/04 12:18	上光				座壇師	「請公王歌」を唱える。			吉野	文中に「唐王連州廟」「盤王福江廟」の文字あり。
12/04 12:22	上光				座壇師	「請公王歌」を唱え終わる。			吉野	

2. ヤオ族府戒禊礼程序

12/04						座壇師Ⅱ・茶酒師・保奉師Ⅱ・弟子・*・他1名	献酒(献三清酒)	主祭場	中央	献酒(献三清酒)終わり。	A19 までよむ。	廣田	
12/04 12:42	還四府願		擺大							机に13の箕を並べ、各箕上に茶碗を10個置き並べる。	A19「請上元下台」～「又唱師棍」前まで。	廣田	箕は会首12、衆1の合計13。茶碗は10碗ずつ。
12/04 12:59	還四府願			正面祭壇前		座壇師Ⅱ・茶酒師?・*・保奉師Ⅱ				鈴、棍をもって舞う。		廣田	
12/04 13:00	還四府願		謝上元			座壇師Ⅱ・茶酒師?・*・保奉師Ⅱ				揺鈴しつつ読誦、その時に神頭を着けた2人が棍をもち舞う。棍をもち祭壇を指す。謝上元舞。 保奉師Ⅱ読誦。 A19「又唱師棍」～「点鈴」、続けて「献神仙」までよむ。	廣田		
12/04 13:04	還四府願			書表師作業場		引度師				右に「陽名法壇…」と記す。		廣田	
12/04 13:25	還四府願			主祭場		3人の師哥				机上の箕に笹の葉を縛ったものを2つずつ置く。		廣田・吉野	笹の葉の糍粑は酒飲めぬ神の為。
12/04 13:27	還四府願					3人の師哥				箕に、油揚げ投げ入れる。		吉野	
12/04 13:39	還四府願					祭司				鈴、棍をもち舞う。謝神棍舞。		廣田	
12/04 13:40頃	還四府願		献酒			祭司				箕の上の茶碗に酒つぐ。		廣田・吉野	
12/04 13:40頃	還四府願					座壇師Ⅱ				(家先単)(会首名簿?*)を読誦。		吉野	
12/04 13:48	還四府願		献酒			祭司・主禊師				酒が入ったヤカンが配られる。主禊師が節を付けて唱えごと、左回りに注いでゆく。献米茲米巴(粽を投げる)。	念誦内容は「為方飲之酒米為献上壇兵兵 献衆壇会首衆位衆祖家先」 A11「上聖兵馬～保佑」 A11「献神」	三村・廣田*	
12/04 14:19	還四府願		献酒			主禊師				テキヤを読誦 祭壇上の蓋に献酒。		吉野・廣田	
12/04 14:21*	還四府願		献酒			茶酒師?*				正面の各神壇にも酒をついでゆく。		吉野	
12/04 14:23	還四府願		献酒			座壇師				念誦		吉野・廣田	念誦を分担。
12/04 14:23	還四府願		献酒			保奉師Ⅱ*				念誦		吉野・廣田	念誦を分担。
12/04 14:23	還四府願		献酒			主禊師				念誦		吉野・廣田	念誦を分担。
12/04 14:23	還四府願		献酒			座壇師				紙銭を供える。		吉野	
12/04 14:21*	還四府願		献酒	主祭場		祭司				献酒終わる。箕の上の茶碗の酒をヤカンに戻し、着替える(14:21)。		廣田・三村・吉野	
12/04 14:23	還四府願		献酒	主祭場		座壇師Ⅱ?*				会首名簿よむ(14:29に唱え終わる)。		廣田・三村	会首の名簿“衆姓醜主各家” 代宗名単:醜壇人民(マ)
12/04 14:23	還四府願		献酒	主祭場		主禊師				酒汲み祖先の祭壇に供える。		廣田	
12/04 14:23	還四府願		献酒	主祭場						箕は片付けられる。		廣田	
12/04 16:50	還四府願		献酒	主祭場	中央	祭司達				卓上に箕が並び、箕の上に茶碗・酒のヤカン・笹・ガンモのせる。		廣田・吉野	
12/04				主祭場	十二宮	執香師				香を供える。打鐘			

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/04 17:08	還四府願	献酒	主祭場	家先衆壇前	主醮師(着帽・赤 チョッキ)	念誦	念誦「請四府回堂」		
12/04 17:11	還四府願	還紙馬	主祭場	家先衆壇前	主醮師(着帽・赤 チョッキ)	会首の名簿念誦、儀礼テキスト唱える。家先壇へ献酒。紙銭をほどき積み上げる。	A11 還順歌	廣田	
12/04 17:48	還四府願	還紙馬； 清教	主祭場	家先衆壇前	主醮師等	会首の名が書かれた筒に巻いた紙をちぎり、また包み直す、唱えごと、管。		廣田	陽卦；足りた。陰卦・聖卦；不足。生きた人間に酒を奉じる。生きた人間同士お互いの還順を証明する。
12/04 17:50	還四府願	献酒；献 陽人酒	主祭場	中央	祭司達	箕の上の碗に酒つぎ、人々に振る舞う。	A11 奉酒歌	廣田	
12/04									
12/04	還四府願	献酒；献 陽人酒	主祭場	家先衆壇前	主醮師	打管 テキスト読誦(節付き)。	A11 還順歌続いて いる。		
12/04 17:55		献酒；献 陽人酒				紙馬を卓の下に積み上げる。			
12/04 18:00		献酒；献 陽人酒			座壇師	粽をもち念誦。	A11 「七星名月歌」 (農業暦)		
12/04 18:02	還四府願	献酒；献 陽人酒	主祭場	中央	祭司達	箕の上の笹、油揚げを壇へ向かって投げる。		廣田・吉野	粽は酒を飲めない人の為。
12/04 18:02	還四府願	退碗・退 供卓	主祭場	中央	祭司達	碗の酒をヤカンに戻し、紙銭に火をつけて碗を炙りふせる。		廣田	卓卓卓母に帰ってもらう。
12/04 18:05	還四府願	賞浪兵頭	主祭場		主醮師・引度師	蓋に酒を受け(蓋から蓋に入れ替える所作をしながら)、儀礼テキスト読誦、酒を飲みまわして、紙銭を擦やす。	A11 「賞浪兵頭」	廣田・吉野	主醮師の陰兵に感謝する。
12/04 18:09	還四府願	焼紙馬			祭司	供えた紙銭の山を燃やす。		吉野	
12/04	還四府願	賞米				米を撒く。		廣田	紙馬の馬の食料。 紙馬の馬の食料。管は求保祭を見る*。テキストなし。
12/04 18:15		焼紙馬			主醮師	管、念誦。	テキストなし 求保祭	吉野・廣田	
12/04 18:22	還四府願	焼紙馬			引度師	念誦 引度師は太鼓を叩きながら念誦。	A32 化財馬用火呪		
12/04 18:23	還四府願	大運銭			証盟師II・座壇師	念誦	A11 大運銭歌		
12/04 18:34	還四府願	大運銭			師哥達	棍の両端に紙銭を巻き付け縛る。棍もち、鈴振る。燃やしている紙馬の周りを左回りに回る。棍を担ぐ所作。		廣田・吉野	棍に紙銭を巻く意味は？* 銭を天秤で担ぐことを象徴。 師哥＝運銭童子。銭の周りを回るのは長距離運ぶことを意味する。
12/04 18:24	還四府願	大運銭			座壇師	経文読誦		廣田	
12/04	還四府願	大運銭			主醮師	牛角鳴らす。		廣田	
12/04 18:37	還四府願	大運銭			祭司達	主祭場から外へ出る。		廣田	
12/04 18:38	還四府願	大運銭			祭司達	天橋の笹を取り、棍の端に縛り付ける。戸口に戻る。		廣田・吉野	笹は花を意味する。
12/04 18:39	還四府願	大運銭	主祭場・主祭 場外広場		主醮師・座壇師・ 証盟師II等	運び先の説明について、A20のテキストにあり。誦誦しているわけではない。	運び先の説明について、A20のテキストにあり。誦誦しているわけではない。	廣田	答。運び先、天・地・水・陽の説明については、A20のテキストにあり。誦誦しているわけではない。
12/04 18:43	還四府願	大運銭	主祭場		祭司達	主祭場内に入り、笹を灰に投げ入れ、灰の周りを左回りに揺鈴しながら回る。		廣田	
12/04 18:47	還四府願	大運銭			主醮師	経文を読誦。	A11 修齋歌	廣田	A-30 儀礼テキスト
12/04 18:48	還四府願	大運銭； 修齋舞			座壇師II・茶酒 師？*・保拳師・ 他1名	棍をもち灰の周りで激しく左回りに回り、舞う。修齋歌(運銭舞)という。		廣田	

2. ヤオ族度戒儀礼程序

12/04	還四府願	大運錢			座壇師Ⅱ・紙縁師 弟子	この二人だけ神頭を着けている。			廣田		
12/04 18:50	還四府願	大運錢： 分錢			座壇師Ⅱ・茶酒 師？*・保拳師・ 他1名	時計と逆回転（左回り）に舞う、灰を祭壇に 投げ入れる。			廣田		灰を投げるのは金を分ける意。
12/04 18:52	還四府願	大運錢： 分錢			座壇師Ⅱ・茶酒 師？*・保拳師・ 他1名	上記の修齋舞と分錢を繰り返す→十二宮。					
12/04 18:54	還四府願	賞浪師父			主醮師	賞師歌うたう。	A11 賞師歌				
12/04 18:57	還四府願	賞浪師父			座壇師Ⅱ・茶酒 師？*・保拳師・ 他1名	牙筒をもち、鈴を鳴らす、酒汲み捨てる。	A11		廣田		
12/04 18:55	還四府願	賞浪師父			座壇師	「師父転歌」を誦唱。	A30 祖師転歌（賞 師歌の異テキスト）		廣田・吉野		A30 「祖師転歌」（「賞師歌」 の異テキスト）
12/04	還四府願				主醮師	念誦	A11 賞浪師父		廣田・吉野		歌詞に師父の名を入れる。 テキストの山頭以降は還家愿 用を四府愿用に置き換える*。
12/04 18:59	還四府願				座壇師	「脱童」を誦唱。			吉野		
12/04 19:03	還四府願				祭司達	法服脱ぐ。			廣田		
12/04 21:42	上光賀星拜 斗	出排盞	主祭場			盆供物			廣田・李		礼 doubao
12/04 22:18	上光賀星拜 斗		主祭場	花楼前	執香師	米2箱・紅色用意。			廣田・吉野		faau jaang hai fin paai tou
12/04	上光賀星拜 斗			家先衆壇前 方		星君の祭壇を作る、酒5、茶7、水1、油灯7 のところ1つのみ、油揚げ、線香。			廣田・吉野		「天輪宮主照奉伝度預想星君」 * 各神壇に下げてある紙筒に、 文書が入っている。いつ入れ たのか？*
12/04	上光賀星拜 斗					星君赤紙をめぐり話し合う。			廣田		
12/04 22:20	上光賀星拜 斗				祭司達						
12/04 22:45	上光賀星拜 斗	請十二星 君回来	主祭場	星君祭壇前	主醮師	念誦	請十二 星君回来。A30b に少しある。		吉野・廣田		12の星君を呼ぶ。12の星君で、 7は良い5は怖い。
12/04 22:50	上光賀星拜 斗	求師	主祭場	花楼前	引度師	正装して念誦。			吉野		
12/04 23:00	上光賀星拜 斗	求師	主祭場	花楼前	引度師	唱えごと、紙銭積む、名簿よむ。			廣田・吉野		花楼に置いてある文書：「賀星 疏意」「賀星奏表」「還四府願」 （これは〈還四府願〉の時に 用いた物がそのまま置いてある のであろう）。
12/04 23:07	上光賀星拜 斗	請十二星 君回来	主祭場	星君祭壇前	主醮師	星君の机前で紙銭を置いていく。			三村		花楼前の引度師と同時進行。
12/04 23:11～ 00:07	上光賀星拜 斗	開天門	主祭場前広場		引度師	合星拜斗表に印。			廣田		儀礼テキスト*
12/04 23:18	上光賀星拜 斗	出兵	主祭場	正面祭壇前	座壇師・証盟師Ⅱ （あるいは師哥）*	鈴・牙筒・木農具もち舞い、工具を外の太歳 壇の下に置く。これを出兵舞という。			廣田		開天門
12/04	上光賀星拜 斗	出兵	主祭場	正面祭壇前	*	出兵歌	A32a 「小旗頭歌」、 「小先録歌」（出兵 と回兵とで歌の中 の文句を入れ替え る）。				

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/04		23:30	上光賀星 斗	合星	主祭場	星君祭壇前	主醮師	会首夫婦に星君牌(赤紙)を授ける。		廣田	星君牌は星神牌という。
12/04	23:30		上光賀星 斗	合星	主祭場	星君祭壇前	会首	跪いて星君牌を受け取る。		廣田	12 会首夫妻の星神を合わせ る。→死後も夫婦であるという 象徴 十二星のうち吉星は北斗 の七星のみ。合星でさるのは 七星である。
12/04	23:30		上光賀星 斗	拝星	主祭場	星君祭壇前	会首	星を拝する。			
12/04	23:30		上光賀星 斗	拝星	主祭場	星君祭壇前	会首	星君牌を返す。			
12/04	23:50		上光賀星 斗	上光賀星	主祭場	花楼前	座壇師・若造・保 拳師Ⅱ・座壇師Ⅱ	鈴・牙簡もち振り、儀礼ヲキストうたう。	他の上光のヲキストと 同じ。A19。それ にA32a 十二宮星 に辰歌を付け加えて 歌う。	廣田	
12/04	00:11	23:56	上光賀星 斗		主祭場		会首	青詞旗もつ。		廣田	
12/05	00:04		上光賀星 斗	合星	書表師作業場		書表師	会首・祖先分の星君牌を用意。		廣田	
12/05	00:12		上光賀星 斗	合星	主祭場	星君祭壇前	会首	主醮師から祖先分の星君牌を受けとる。		廣田	
12/05	00:12		上光賀星 斗	拝星	主祭場	星君祭壇前	会首	星を拝する。			
12/05	00:12		上光賀星 斗	拝星	主祭場	星君祭壇前	会首	祖先分の星君牌を返す。			
12/05	00:21		上光賀星 斗		主祭場	星君祭壇前	主醮師	星君赤紙燃やす。		廣田	
12/05	00:21		上光賀星 斗				紙縁師	星君の神牌を燃やす。		廣田	
12/05			上光賀星 斗	開天門	主祭場前広場	文台	引度師	ヲキスト読誦。	倣賀星表		
12/05	00:07		上光賀星 斗	開天門	主祭場前広場	文台	引度師	表を焼いたはず*。			
12/05			上光賀星 斗				引度師				
12/05	00:43		上光賀星 斗	回兵	主祭場	正面祭壇前	座壇師Ⅱ・保拳師 Ⅱ	兵器のレブリカをもち舞う。		廣田	楽隊有。
12/05			上光賀星 斗	回堂拝師	主祭場	花楼前	引度師	念誦、紙錢を供す。角を花楼に置く。	念誦(謝師)(脱童)	廣田	
12/05	00:48		上光賀星 斗	上光賀星	主祭場	花楼前	座壇師・若造	牙簡もち揺鈴、念誦続いていたが終了。			
12/05			上光賀星 斗	上光賀星	主祭場	花楼前	座壇師・若造	脱童			
12/05				出排蓋							
12/05	09:55		請未夜聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	総壇師Ⅱ・保拳師 Ⅱ・茶酒師?* 弟子の師哥*	拝礼		李・吉野	楽隊有。

2. ヤオ族戒儀礼程序

12/05 10:40	請末夜聖	請	請	主祭場	正面祭壇前	総壇師Ⅱ・保挙師Ⅱ・宗酒師?* 弟子の師哥*	鈴振る。	テキストはない。今までの請聖と同じ。	廣田	
12/05 10:40	請末夜聖	請	請			総壇師	念誦		吉野	
12/05 10:40	請末夜聖			書表師作業場		書表師・書表師Ⅱ	書表師弟子とともに「北極驅邪院醴壇内給出 関糧文牒」「北極驅邪院醴壇給出伝度新承弟子 縁據」に朱字を入れ印を押す。		廣田	
12/05 11:00～ 12:00頃	回功曹			主祭場	功曹祭壇前		祭壇を敷け、米、紅包、酒、油揚げ、線香 等を供える。		廣田・吉野	儀礼テキスト②* 本来は末夜聖の後にやるが時間が無いので同時進行。
12/05 10:53	回功曹			主祭場	功曹祭壇前	引度師・証盟師(紙縁師)*	唱えごと	内容としては請聖と同じ。	廣田・吉野	壇上に「請聖状一函文引」「地府一界…呈進祈保新承弟子」「天府一界…」「陽間一界…」「水府一界…」
12/05 11:04	請末夜聖				正面祭壇前	総壇師	唱えごと、座る。	請聖(A32a)のテキストに相当)	廣田	請聖(A32a)のテキストに相当)
12/05 11:17	請末夜聖	回四府		主祭場	正面祭壇前	主職師	テキスト読誦、途中から念誦。	主職師読誦はA11。還四府願と同じ。	廣田・吉野	
12/05 11:11	請末夜聖			紙縁師作業場		証盟師等	紙銭を作る。		廣田	*
12/05 11:17	請末夜聖			主祭場	正面祭壇前	祭司達	円く座る。		廣田	寒いから焚き火に当たっている*
12/05	請末夜聖	請聖		主祭場	正面祭壇前	座壇師	主職師の隣で念誦。	A32a「請上壇兵」～「請本主家先」ま前まで三回反復。	廣田・吉野	念誦の原テキスト? *
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	証盟師Ⅱ	会首名簿読誦。	会首名簿	吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	総壇師	念誦終わり。		吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	証盟師Ⅱ	読誦終わり。		吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	主職師	念誦終わり。		吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	座壇師	念誦終わり。		吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	主職師	念誦	請聖統きを分担。	吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	主職師	念誦終わり。		吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	総壇師	念誦	請聖	吉野・廣田	請聖では同じテキストを3回読むのである*。
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	総壇師	念誦終わり。	読んでいたテキストはA20(内容はA32a「獻香歌」～「請聖実満…」)の前まで。	吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	座壇師	テキストを読誦。		吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	保挙師Ⅱ	焼紙		廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	座壇師	読誦終わり。		吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	総壇師	念誦	「三消費」A13「大道費」と同じ? *	吉野・廣田	三消費は末夜聖だけ*。 座壇師と入れ替わり? *
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	座壇師	念誦終わり。		吉野・廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	保挙師Ⅱ	経文暗誦。		廣田	*
12/05 請末夜聖	請聖	請聖	請聖	主祭場	正面祭壇前	総壇師Ⅱ	鈴振る。		廣田	*

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/05	12:35	請未夜聖							花楼を主祭場中央へ移動する。				吉野
12/05	12:37	請未夜聖							奏楽(12:58終了)				吉野
12/05	12:40~12:58	跑堂	主祭場	花楼(中央)	祭司・会首等				中央の花楼を中心に回る、各祭壇に礼拝。				廣田
12/05		賞兵											
12/05	12:35	掛十二盞大羅明月灯	主祭場						(出排盞)				吉野
12/05	14:48	【作業】	書表師作業場		書表師				「朱詞引」に朱字入れ印押す。				廣田
12/05	14:52	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	花楼(右)前	主齋師				テキストなし。大羅明月灯・請師				李・吉野・廣田
12/05	15:11	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師・証盟師・保拳師				正装に着替える。				廣田
12/05	15:10	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師・保拳師・証盟師				主齋師・引度師・保拳師・証盟師いずれも赤い長衫を着し、着帽、背中には白布。鈴・牙簡もち、立礼・跪礼で礼拝、舞う。				廣田・吉野
12/05		掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師・保拳師・証盟師				献酒				
12/05	15:16	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	4人*				種壇前で唱えごと、牙簡・鈴・ドラの音に合わせて踊り。2人1組で揺鈴・打鐘。				佐川・吉野
12/05		掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前					唱えごと終わる。→ドラに合わせて踊る。片足を上げて木の棒を投げる。				佐川*
12/05	15:17	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	主齋師				「羅帶出世」を誦誦。				廣田・吉野
12/05	15:18	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	主齋師・引度師・保拳師・証盟師				羅帶舞(羅帶はもっていない)。				
12/05	15:37	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	3人の祭司				盞・牙簡もち鈴振る、盞の酒捨てる(献酒)。	A19 献酒終わりのま			廣田
12/05	15:39	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	引度師				紙銭一枚燃やし、後ろに捨てる。				佐川
12/05	15:48	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	会首				機を並べる。1・6・9・12 会首は青詞旗をもっている。				廣田・佐川・広川
12/05	15:59	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	花楼(西南角)の周り	主齋師				水腕もち誦誦、管。勅変米変兵、勅変機変太上老君之機、勅変水変楊柳之水。	A32b 伝灯変水用			廣田
12/05	16:11	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	中央→門口	主齋師・引度師・保拳師・証盟師				唱えごと(掛灯機)をもち、門口へゆき、中から外に向かって唱え、一礼。				吉野
12/05	16:18	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	会首				機上の法服を着、神札を頭につけ機に座る。				廣田
12/05	16:27	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	祭司達				紙銭を丸め外に投げる。A32b 3 回収機を行う。打管	收祭=収伏断			廣田
12/05	16:27	掛十二盞大羅明月灯			主齋師・引度師				念誦(身体の祭を清める)。				廣田
12/05	16:40~18:18	掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	主齋師				儀礼テキストもち唱え、12人の前を歩く。後ろは引度師(手に紙銭)。				廣田・佐川
12/05		掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	主齋師				切り紙が2本ずつ会首に渡される。				廣田・佐川
12/05		掛十二盞大羅明月灯	主祭場	正面祭壇前	主齋師								踏蓮花・戴帽・藏身。

2. ヤオ族舞戔鏡礼程序

12/05 16:33	掛十二盞大 羅明月灯	踏蓮花	主祭場	正面祭壇前	会首達	足の下に碗を敷く。	A32b	廣田	
12/05	掛十二盞大 羅明月灯	戴帽	主祭場	正面祭壇前	祭司達	会首の頭の上で両手を丸く動かす。	A32b		
12/05	掛十二盞大 羅明月灯	藏身	主祭場	正面祭壇前	祭司達	長衫の端をひらひらさせる。	A32b 変身用		
12/05 16:43	掛十二盞大 羅明月灯	昇灯	主祭場	正面祭壇前 →門口→正 面祭壇前	主醮師・引度師・ 証盟師・保拳師	灯明の盞が置かれた箕をもち、唱えごとをし、 外と祭壇に向かう。	A32b	廣田	
12/05 16:50	掛十二盞大 羅明月灯	掛十二灯	主祭場	正面祭壇前	主醮師・引度師・ 証盟師・保拳師	大会首から灯明台に灯明を置く。念誦	A32b「一盞…」他、 請聖証盟を請う内 容の念誦	廣田	灯明は12個ずつ。 祭壇に向かって左から大会首・ 1会首・2会首…12会首と並 んでいる。
12/05 17:10	掛十二盞大 羅明月灯	掛十二灯	主祭場	正面祭壇前	書表師	祖先の分の灯明台を追加する。		廣田	1会首・6会首・9会首・12会首。
12/05	掛十二盞大 羅明月灯	掛十二灯	主祭場	正面祭壇前	引度師	12会首からはじめて唱えごとをする、祖靈旗を 確かめつつ、手袂(掛灯袂)。		廣田	祭壇に向かって左から大会首・ 1会首・2会首…12会首と並 んでいる。
12/05 17:34	掛十二盞大 羅明月灯	掛十二灯	主祭場	正面祭壇前	主醮師	儀礼ヲキオトをうたう、大会首から唱えごと、管。 A32a「太極分高原謹請上風天…」～「梅山咒」 までよむ。		廣田	
12/05	掛十二盞大 羅明月灯	掛十二灯	主祭場	正面祭壇前	引度師	12会首から「解厄」うたう。	A32b「解厄」	廣田	1人ずつ解厄を唱えているので はなく、会首名簿を読み上げ ている。
12/05 17:51	掛十二盞大 羅明月灯	掛十二灯	主祭場	正面祭壇前	主醮師	大会首から「淨身咒」等うたう。管(認定)	A32a「淨身咒」	廣田	1人ずつ淨身咒を唱えている わけではない。まとめて。
12/05 17:58	掛十二盞大 羅明月灯	退灯	主祭場	正面祭壇前		灯明を降ろす、片付ける。	A32b「退灯」	廣田	
12/05 17:57	掛十二盞大 羅明月灯	退蓮花	主祭場	正面祭壇前	主醮師	儀礼ヲキオト唱える。	A32b 退蓮花	廣田	
12/05 18:06	掛十二盞大 羅明月灯	退蓮花	主祭場	正面祭壇前	祭司達	碗を取ってゆく。			
12/05 18:07	掛十二盞大 羅明月灯	抬轎子	主祭場	正面祭壇前	祭司・証盟師・保 拳師	前後に立ち、3人ずつ会首を根で挟んで立た せる。	A32b「門前水」 ～「請師教」前ま で。	廣田	
12/05 18:08	掛十二盞大 羅明月灯	教会首走 正道	主祭場	正面祭壇前	主醮師	会首立ち並び、その前で読誦。	A32b「請師教…」 ～「完了」まで。		
12/05 18:17	掛十二盞大 羅明月灯	謝師	主祭場	正面祭壇前	主醮師	牙篋もち鈴鳴らしつつうたう。謝師舞		廣田	
12/05 18:18	開天門	求師	主祭場	花楼前	引度師	唱えごと	求師	廣田	12会首に開天門を教える為の 開天門。
12/05 18:20～ 19:27	開天門	開天門	主祭場前広場	文台	会首達		A16	廣田	表や引は無し。紙銭を焼くだ け。
12/05 19:36	開天門	開天門	主祭場	花楼前	引度師	唱えごと		廣田	主醮師の後ろに莫薩あり。莫 薩の下に7つの伏せた碗あり。 碗は七星。
12/05 19:33	度水槽	求師	主祭場	家先衆壇前	主醮師	名簿よむ、紙銭積む。	A12	廣田	

2. ヤオ族度度戎儀礼の程序

12/05		度水槽	勅変水槽	主祭場	家先衆壇前	主醮師	勅変水、唱えごと、重ねられたる莫蘆に剣を突き立て勅令マークを書く、テキストよむ。テキストは書表師がめぐる。	A12 変【草冠+稿】 荐法 「変【草冠+稿】 荐用」前まで。	廣田	莫蘆は鉄船に変わる。
12/05		度水槽	勅変沙板	主祭場	家先衆壇前	主醮師	沙板を勅変。	A12 「変板法用」	廣田	過水槽で使う木の棒は、沙板という。船に変わる。沙板は船の板である。
12/05		度水槽	勅変碗蓋	主祭場	家先衆壇前	主醮師	碗を勅変。	A12 「変蓋法」	廣田	ヤカンは水に変わる。
12/05		度水槽	勅変水缸	主祭場	家先衆壇前	主醮師	ヤカンを勅変。	A12 「変水缸用」	廣田	伝陰放陽
12/05		度水槽	叩請四府功曹	主祭場	功曹祭壇前	主醮師	念誦		廣田	7つの碗は北斗七星を意味する。
12/05		度水槽		主祭場	家先衆壇前	主醮師	莫蘆の下に碗を伏せて置いて置いている。莫蘆は13枚。12会首と引度師分。		廣田	
12/05		度水槽		主祭場	功曹祭壇前	主醮師	念誦、管（四府功曹回来かどうか認定）。	A12 「抛牌伝度…」 ～「下禁壇」の前まで。	廣田	
12/05	19:33～20:30	度水槽		主祭場		楽隊	奏楽 ドラ・笛・シンバル。		廣田	
12/05	19:52	度水槽		主祭場	功曹祭壇前	引度師	牙簡もち鈴鳴らす、引度師気を失う。		廣田	主醮師は位が高いので、引度師が会首選をつれて隣界へ赴く。
12/05		度水槽		主祭場	功曹祭壇前	総壇師	引度師の傍らで唱えごと。	A12 「抛牌伝度…」 ～「下禁壇」の前まで。	廣田	
12/05	19:53	度水槽			家先衆壇前	引度師	莫蘆に運ばれ寝かされる。			引度師の場合は主醮師だけがまたぐ。
12/05	19:53	度水槽				主醮師	莫蘆に寝かされた引度師の上に木がわたされる。主醮師は根で天橋を突き、根をもつまま引度師をまたぐ。頭部と足部にヤカンをもつ者いる*。			天橋を突き＝伝陰放陽。ヤカンは水を意味し、ヤカンと沙板とで船を意味する。鉄の船である。
12/05		度水槽					引度師の体を起こし、正気に戻させる為に陪男が叫び、茶を口にそそぐ。次にこれを12人の会首順に行う。最後に青詞旗を莫蘆に置き、その上を法師達がまたぐ。		廣田	
12/05	19:59	度水槽				会首達	次々と引度師と同じようにする。会首の場合は祭司全員がまたぐ。			
12/05	20:42～20:46	度水槽		主祭場	正面祭壇	会首全員	祭壇に向かつて跪く。		廣田	
12/05	20:42～20:46	度水槽	撥水槽			主醮師	念誦、管2回（ちゃんど伝承できたかどうか認定）、法師願き終了。		廣田	水槽をわたる能力を会首達に伝承した。
12/06		供青詞			孔子祭壇前	主醮師	青詞を孔子壇に供える。	加職青詞 補充青詞	廣田	本当は雄鶏を一羽供養するはずであったが、やっていたくない。
12/06	11:15～11:25	勅変符		書表師作業場	孔子祭壇前	主醮師	米箱・紅紙供え、箕に符を並べる。	テキスト無し。念誦符のテキストはA1。	廣田	避邪符・平安符・保身符 十二支・左右の区別あり。 Dou 刀の時の十二支配置と同じ。頭と体につける符も。
12/06	11:14	勅変符			孔子祭壇前	主醮師	孔子祭壇に向かい、唱えごと、紙銭積む、管。		廣田	
12/06	11:18	勅変符				書表師	勸の血を符に撒く。		廣田	

2. ヤオ族度戒儀礼程序

12/06 22:19	度勒床	勒床		主齋師	敷かれた莫藎に符をかく、水を吹く、管。	A12 変【草冠+稿】 荐法 「変【草冠+稿】 荐用」	廣田	
12/06 22:37 ~ 23:12	度勒床	度勒床	功曹祭壇前	引度師・総壇師	鈴鳴らし立つ、紅布を会首に背負わせ唱えごと。気絶する。	A12の冒頭から(度 水槽と同じ)	廣田	発功曹を行い陰下去。
12/06 22:37	度勒床	度勒床	主祭場	引度師	莫藎に寝かされる。		廣田	
12/06 22:44	度勒床	度勒床	家先衆壇前	主齋師	棍で陰橋を突き、引度師をまたぐ。		廣田	伝陰放陽・急陰速陽。陰橋を揺らして早く陰界へ赴かせる。
12/06 22:55	度勒床	度勒床	家先衆壇前	主齋師	引度師を蘇らせる為額に符を描く、水を吹きかける。顔を撫でる、帽子を直す。		廣田	
12/06 23:17	度勒床	度勒床	家先衆壇前		家先衆壇前に向かって唱える、紙銭を丸め手に握り唱える、腕を回す、管。		廣田	
12/06 23:17	度勒床	度勒床	主祭場	会首	鈴鳴らし立つ、祭壇に礼、気絶する。		廣田	12 会首から。
12/06 23:17	度勒床	度勒床	功曹祭壇前	総壇師	紅布を会首に背負わせ唱えごと。		廣田	
12/06 23:20 ~ 00:16	度勒床	度勒床		座壇師・保拳師II	総壇師のサボ一ト。		廣田	
12/06 23:20	度勒床	度勒床	主祭場	会首	莫藎に寝かされる。		廣田	
12/06 23:20	度勒床	度勒床	家先衆壇前	12 名祭司	棍を陰橋に差した後もつつ次々に、寝ている会首をまたぐ。		廣田	速く勒床を渡らせるために、またぐのである。
12/06 23:20	度勒床	度勒床	功曹祭壇前	会首	介護を受け、意識を取り戻す。		廣田	
12/06 23:20	度勒床	度勒床	壇男達	壇男達	介護を受ける。		廣田	
12/06 23:27	度勒床	度勒床	会首	会首	次々に行う。		廣田	
12/06	度勒床	度勒床	会首	会首	最後は青詞旗を莫藎に並べ、またぎ花楼に置く。		廣田	
12/06 00:22	度勒床	度勒床	正面祭壇前	主齋師・引度師・会首	会首跪き並ぶ。その前で主齋師念誦。	師父を念じて勒床を発し、師父に証盟してもらう。	廣田	
12/07 00:23				主齋師	花楼を東へ移動。		廣田	
12/07	扶置扶訣 (捧火磚)	主祭場		主齋師・引度師	唱えごと、管、法服脱ぐ。		廣田	*
12/07	扶置扶訣 (捧火磚)	主祭場	家先衆壇前	主齋師	正装に着替える、ドラの合図。		廣田	*
12/07	扶置扶訣 (捧火磚)	主祭場	家先衆壇前	主齋師	唱えごと	請師	廣田	*
12/07	扶置扶訣 (捧火磚)	主祭場	家先衆壇前	主齋師	二十四罡歩 丸い石	A12 「又変火磚用」	廣田	*
12/07	扶置扶訣 (捧火磚)	主祭場	家先衆壇前	主齋師	三十六罡歩 犂先	A12 「変犁頭法」 ～「拝四方未地歌」 前まで。	廣田	*
12/07 02:26	扶置扶訣 (捧火磚)	主祭場	家先衆壇前	主齋師	テキスト読誦。水に剣で雪山水を書き、塩を入れる。	A1 「雪山水」	三村・廣田	初めから塩が入っていたのか*。読誦時には既に塩が入っていた*。
12/07	扶置扶訣 (捧火磚)	歩罡		主齋師	テキスト読誦しながら歩罡する。	テキストあり。七歩罡・八歩罡・二十四歩罡・三十六歩罡のテキスト。		主齋師はテキストをもっていない。総壇師がもっているという*。
12/07	扶置扶訣 (捧火磚)	主祭場		主齋師ら	花楼を中央に移動する。			*
12/07	扶置扶訣 (捧火磚)	主祭場		主齋師	手を塩水に浸す。			*

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/07	扶置扶訣 (捧火磚)	打火堂			主醮師	口に含んだ水を焚き火に吹きかける。	A12 「又打火堂法 用」	廣田	*
12/07		打火堂			引度師	符を書く。			*
12/07 02:49 ~	扶置扶訣 (捧火磚)		主祭場	花楼前(中 央)の周り	主醮師・会首達・ 書表師	夷藪で火の中から取り出す、熱く熱した稷先、 石を手にもち走って花楼の周りを時計と逆に1 回〜2回回る。主醮師は3回回らなければな らない。	A12 「抽犁頭法」	廣田	会首は順不同。
12/07 02:52	扶置扶訣 (捧火磚)				周りの人々	笑う		廣田	
12/07 03:07 ~ 03:09	扶置扶訣 (捧火磚)		主祭場	正面祭壇前	会首達	跪いて並ぶ。ドラ。		廣田	
12/07 03:09	扶置扶訣 (捧火磚)				主醮師	唱えごと、法服を脱ぐ。		廣田	
12/07 09:45	【作業】		書表師作業場		主醮師	切り紙。		廣田	
12/07 09:48	【作業】					黄紙「太上奉行金闕玉泉門下奉勅弟子(○ 囲み)名(○囲み)祿取位既在江蘇省南京為 號」に朱を入れる。		廣田	
12/07	遊郷				会首達	正装。長衫・帽子・法冠を着している。			
12/07 10:04	【作業】				書表師・書表師II	影牌に記入、朱を入れ、押印。		廣田	
12/07 11:10	遊郷	発給	主祭場	正面祭壇前	書表師・主醮師	会首達に影牌をわたす。		廣田	
12/07 11:12	遊郷				会首達	影牌を確かめ、眺く。		廣田	
12/07 11:13	遊郷				証盟師II・座壇師	木農具をまとめて縛る。		廣田	
12/07 11:14 ~ 11:47	遊郷	昇職位	主祭場	三清神面前	主醮師	鈴もち、会首の黄紙を牙筒にのせ神画に近づ ける、くつつく神画に貼る、うたう。8会首の職 位を決定する)		廣田	赤紙も夜に貼るが、この儀礼 ではない。会首の近所の人 が厄除けに頼むことがあり、それ が赤紙。
12/07 11:32	遊郷	昇職位	主祭場	主祭場	保拳師II	主醮師を手伝う。		廣田	
12/07 11:32	遊郷	昇職位	主祭場	主祭場	座壇師	重ねられた神画から三清図を探す(うまくつつ かない場合)。		廣田	要三清作証
12/07 11:49 ~ 11:56	遊郷	出兵	主祭場	正面祭壇前	証盟師II・保拳師 II	兵器のレプリカの束を担ぎ、鈴振りうたう。鈴置 き舞う、出兵舞。ドラ・シンバル・太鼓。		廣田	
12/07 11:50	遊郷	出兵	主祭場	正面祭壇前	座壇師	儀礼ヲキキト唱える。	A32a 小旗頭歌の 終わりの部分を「出 兵」に替える。	廣田	
12/07 11:58	遊郷	出兵	主祭場	正面祭壇前 →門口→正 面祭壇前	証盟師II・保拳師 II	各々、道具を1つずつもって祭壇前で一回り してその後、正門のところへもって行き、置く。 全部もって行った後、祭壇に一礼して退く。		吉野	傘を差すのは、麒麟打傘兵と して。麒麟打傘兵は位の高い 兵であるので、最後に出て来 る。
12/07 12:00	遊郷	出兵	主祭場	正面祭壇前	主醮師	花笠と扇子をもち、念誦しながら舞う。後に傘 だけをもち回して舞う。麒麟打傘舞。		廣田	兵が出て来ない行列が守ら れない。
12/07 12:04	遊郷				主醮師・引度師	正門外へ出る。	A32a 先峰歌	吉野	

2. ヤオ旗度戒儀礼程序

12/07 12:04	遊郷	遊郷	主祭場	主祭場	執香師・黒將軍・ 紅將軍・楽隊・ブ ラカード・剣等・ 会首・会首夫人・ 培男・培女	執香師は盆を頭の上にもつ。盆の上には「通 天香」を置く。本当は檀香。盆をもつのは「通 信兵」。皆で主祭場から戸外へパレード。東側 の川に近い道を通って雲台方向へ行く。黒將 軍、紅將軍(この2名は欄路兵)もついて行 く。楽隊は「鑼鼓兵」。ブラカードをもっている のは「旗兵」。武器をもつのは「武官兵」(刀兵、 斧兵)。牛角をもつのは「号兵」。この他に弾 琴兵、工兵、鏑路兵、勤務兵(炊事茶事をす る)騎虎兵、騎龍兵、抬轎兵なども居るはず であるが、実際にいるかどうかは、確認できな い。兵を総称して「遊郷兵」という。傘を差す (清涼打傘)のは金童玉女。	廣田・李				正門前から西側の山側一般道 と主祭場への下り道との分岐点 が②。及びそこから北へ数メー トルのところが①。
12/07 12:15	遊郷	西側の道				①②とも肌とベンチを置く。①には掛大羅灯の 時に使った灯架に黄紙の貼り紙「玉清聖境元 始天尊 上清聖境靈寶天尊 太清仙境道徳天 尊」と書いたものを貼る。①には書表師、② には紙職師が座る。					
12/07 12:15～ 13時頃	遊郷	西側の道	路上①	蓋印・辨 証件	書表師・他1名	第一関 会首の通行を止める、問答、影牌をよ む、影牌上の会首の名の横に朱入れる、捺印。 紅包・果物(落花生、龍眼など)を受け取る。	廣田・李				
12/07 12:15～ 13:00	遊郷	西側の道	路上②	査紙銭	紙職師	第二関 会首と問答。燃やした紙馬が本物で あったかどうか審問。					
12/07 12:15～ 13:00	遊郷	主祭場前広場	正門前広場 西北角	盤査	証盟師・保拳師・ 証盟師II	第三関 会首と問答、影牌みる、紅包受け取る。	廣田・李				
12/07 12:15～ 13:00	遊郷	主祭場前	正門前	盤査	総壇師・座壇師	第四関 会首と問答、影牌みる、紅包受け取る。	廣田・李				
12/07 12:15～ 13:00	遊郷	主祭場	主祭場入口	過欄路関	黒將軍・紅將軍	第五関 会首と問答、影牌みる、紅包受け取る。	廣田・李				
12/07 12:15～ 13:00	遊郷	主祭場	正面祭壇前	通関	引度師・主職師	第六関(過関) 会首と問答、影牌みる、紅包 受け取る。	廣田・李				
12/07 12:50	遊郷	主祭場	主祭場	主祭場	会首	道ふさぎ終了後紅包を分ける。脱ぐ。	廣田				
12/07 17:00	大戒文	主祭場	主祭場	主祭場	祭司達	テール蕨に座る(体首座り)、蕨蘆に前後(前 1枚の蕨蘆に座る(体首座り)、蕨蘆に前後(前 列夫、後列妻)に座る。	廣田・李				
12/07 17:05	大戒文	主祭場	主祭場	主祭場	会首・夫人	戒文を読誦。	廣田		テキストは、主職師が後日筆写し たので、手元にあるという。		
12/07 17:10	大戒文	主祭場	主祭場	読戒文	主職師	戒文を聞きながら、餅米のてんこ盛り飯を受け 取り、半分食べる、油揚げを受け取り、食べる、 夫婦の飯を上下に合わせ紅布に包む、蕨蘆と 紅包もって退出。	廣田				
12/07 17:39～ 18時頃	老君飯	主祭場	主祭場	主祭場	会首・夫人	加職場・加職陰據を作成。 家先衆壇に向かい唱えごと。	廣田				
12/07 18:00	【作業】	書表師作業場	書表師作業場	書表師	書表師・書表師II	甕の上の布たたむ。	廣田				
12/07 18:00	老君飯	主祭場	主祭場	主祭場	主職師	三浦区に「投拜三浦為天子●(不明)生 于丁亥年2月26日建生」の紅紙貼り付ける、 紙銭燃やす、筥。	廣田		度戒儀礼の本筋ではない*。		
12/07 18:30	老君飯	主祭場裏	主祭場裏	主祭場裏	会首夫人達	箱の中に米を入れている。	廣田		*		
12/07 18:45	(名称無し) 為解災解難	主祭場	主祭場	主祭場	主職師		廣田				
12/07 18:45	【作業】	主祭場	主祭場	主祭場	会首		廣田		*		

2. ヤオ族度戒齋礼程序

12/08 21:05	【作業】	主祭場	正面祭壇前	主祭師・座壇師・ 証盟師	供物。 神々の祭壇に灯明を点ける。			廣田・李 吉野	
12/08 21:09	【作業】	主祭場	正面祭壇前	主祭師・座壇師・ 証盟師	唱えごと、紙銭積む、会首の名簿よむ。		テキスト無し。	廣田	
12/08 21:18	分兵	主祭場	供物机前	主祭師・会首	白布たたみ箱上から垂らす。			廣田	
12/08 21:20	分兵	主祭場	供物机前	会首	切り紙(分兵旗)と青詞旗もち並ぶ。箱の上から地面まで白布を掛ける。			廣田・佐川	分兵旗をもらったら、領兵、帯兵、引兵の機能も可能となる。分兵旗は家にもって帰り、開天門の時に使う。
12/08 21:27~ 21:32	分兵	主祭場	供物机前	主祭師	唱えごと、会首の名簿よむ、管、米を会首に投げる。布上で管、布たたむ。	A16 「招五穀転兵用」		廣田	七千八百万の兵が分与される。新度兵伝度兵。
12/08 21:28	分兵	主祭場	供物机前	会首	主祭師の投げた米をエプロンで受け取る。			廣田	
12/08 21:35~ 21:51	開齋	主祭場	家先衆壇前	証盟師 II	勅変水(開齋水)・鶏(開齋鶏)・豚(開齋猪)を机に置く。		開齋疏・削罪疏(ママ)・満散疏	廣田	開齋齋(大蒜・菘・葱)開葷齋(脂・肉)
12/08	開齋	主祭場	正面祭壇前		左の机:豚・12 鶏、中央の机:米3箱・3 紅包・3 白布・6 蓋酒・線香・あげ。			廣田	豚の上に置いてあるのは家先衆。
12/08	開齋	主祭場	家先衆壇前	総壇師	開齋をすることを告げ、師父を呼ぶ。開齋疏等を読んだか否かは不明。			廣田	
12/08 21:41	開齋	主祭場	中央の机の前	総壇師	唱えごと、紙銭置く。会首の口に水を与え、あげと鶏と豚の脂身の匂いを嗅がせる。会話、管。			廣田・佐川	臭いを嗅がせることで開齋する。管:陽卦であれれば開齋したことを認定する。
12/08 21:41	開齋	主祭場	中央の机の前	会首	総壇師から水・豚・鶏・油揚げを与えられる、開齋する。「ありがとう」という。師父に礼拝。爆竹。			廣田	油揚げは青菜(上記)を意味する。
12/08 21:51	開齋	主祭場	中央の机の前	総壇師	「五穀豊登」「人丁興旺」「百年無災」「千年無難」「一身警戒」と言祝ぐ。				
12/08 21:56	開齋	主祭場前広場		会首	米を回収。			廣田	
12/08 21:55	【作業】			引度師	ハケに乗り、3・4 会首の家へ「招新度兵」を実施するために行った。				
12/08 22:00	開齋壇	主祭場		執香師	ドラを鳴らす。米の机前酒を捨てる。			廣田	
12/08 22:09	開齋壇	主祭場	家先衆壇前	主祭師	唱えごと、管、酒つぐ。紙銭積む。落祭壇で埋めたものを掘り出す。剣で紙銭の塊を掘り出し、中の丸めた紙を1つ1つほどく。「疏」も入っていた。紙銭に積み上げる。これらは焼かれる。	A15b 「開齋堂」		廣田	
12/08 22:41	点破宮門	主祭場	正面祭壇前	総壇師	念誦		A32a 「送香爐歌」 「起請拆官上大聖」 ～「祀尾一条鎮」 続いて「玉皇退了三兄弟」～「擇官任任収傍文」まで。	廣田	この他、保挙師が点破宮門。
12/08 22:41	点破宮門	主祭場	正面祭壇前	座壇師・座壇師 II	鈴・根もつ。		A30a 「大旗頭」 ～「十方洪兵走一方」 まで	廣田	
12/08	点破宮門	主祭場	正面祭壇前	証盟師 II	読誦			廣田	
12/08 22:45	送孤神	主祭場前広場		総壇師	うたう、紙銭燃やす、唱えごと、管。		A31 「送姑寒」 読誦中アキハト廣田が撮した。	廣田	A30a 及 A31 「啓請今庚【しん】 んにより+另】 往鬼」 A32a

2. ヤオ族度戒儀礼の程序

12/08 22:45	点破宮門・ 拆榜文	謝師	主祭場	正面祭壇前	座壇師・座壇師Ⅱ	榎もち鈴振る。	1.A30a「啓請上元 宮第一」～「回来 打破七重神」まで 点破宮門。 2.A30a「大旗頭」 御破宮門。 3.A32a「起請訴官 上大聖」～「紅尾 師公信未銘」「玉 皇退了三兄弟」～ 「擇官任任収榜文」 まで拆破宮門。	廣田	3 回舞う。
12/08	謝師	主祭場	主祭場	家先衆壇前	主醮師	酒つぐ。 主祭場に戻る、榎もち鈴振り舞う。舞う間、ド ラが節をつけて鳴らされている。		廣田	
12/08 22:53	御破宮門	主祭場	主祭場	正面祭壇前	座壇師・座壇師Ⅱ	主祭場に戻る、うたう。		廣田	
12/08 22:55	御破宮門				総壇師	儀礼アキテうたう。	A30a「大旗頭」「雷 動歌」	廣田	A-30 儀礼アキテ
12/08	御破宮門			正面祭壇前	茶酒師・吹笛師・ 執香師・鼓楽師	4 つ竹筒を背って、回舞。		李	
12/08 23:02	拆破宮門				座壇師・座壇師Ⅱ	神棍をもって舞う、鈴振り。		廣田	
12/08 23:04	拆破宮門				座壇師・座壇師Ⅱ	ドラを鳴らすと座壇師ら 2 人棍をもち、棍の先 を天に向けて→花楼に向けて→総壇師の唱え ことに合わせて鈴鳴らし踊る。		佐川・廣田	
12/08 23:11	拆破宮門				総壇師・座壇師 2 人	総壇師の唱えごとに合わせて鈴鳴らし踊る。		佐川	
12/08 23:13	開禁壇	謝師		家先衆壇前	主醮師	紙銭積み、唱えごと、管、紙銭燃やす、米を撒く。		廣田・佐川	
12/08 23:17～ 01:00	拆破宮門				座壇師・座壇師Ⅱ	棍で祭壇を壊し始める。		廣田	
12/08 23:21	拆破宮門				主醮師	唱えごと、紙銭をくへ燃やす。		廣田	
12/08 23:56	拆破宮門				祭司達	祭壇を壊し、残骸をまとめる、もつこの上に残骸、 花楼を置き、木農具・花傘・肉入り腕・船形 うす等も入れる。		廣田	天橋から破す。
12/08 23:58～ 00:07	拆破宮門		書表師座業場	孔子祭壇前	主醮師	孔子の祭壇に向かい、唱えごと、紙銭を積み、管、 紙銭とともに孔子神位燃やす。		廣田	
12/08 23:55	送香炉				執香師・吹笛師・ 鼓楽師 4 人	白布に線香立て包んだものを肩に掛ける、鈴振 る、組み合って舞う、ほどき中身をもつこに。 祭壇壊す。	A32a「送香炉」	廣田	
12/08 23:58	拆破宮門				茶酒師			廣田	水槽が出てきた。本来、度水 槽の時に、莫塵の頭の部分の 下に敷くものであった。実際に は使っていない。
12/08 00:44	拆破宮門					花楼壊しもつこに載せる。		廣田	
12/09 01:00	送庫				祭司達	もつこを雲台に運び出す。運ぶとき奏楽。		廣田	
12/09	送庫		雲台			刀梯の榎もちのこぎりできざし全て燃やす。		廣田	
12/09	送庫		雲台		総壇師	紙銭くへる、唱える。		廣田	
12/09	送庫		雲台		主醮師	牛角吹く。		廣田	
12/09	送庫		雲台		座壇師	儀礼アキテ唱える、鈴振りの唱える。		廣田	
12/09	送庫		雲台	開天門	主醮師	管。発角、旗紙。		廣田	疏表は無い。
12/09	送庫		雲台		引度師	牛角。		廣田	
12/09 01:20	求師		主祭場	花楼跡	証盟師Ⅱ	唱えごと、紙銭置く、酒つぐ。		廣田	
12/09 01:20	求師				保挙師Ⅱ？*	法服・棍・牛角・剣もつ、礼。		廣田	

2. ヤオ族度戒儀礼程序

日	時刻	祭儀	主祭場前広場	保拳師・証盟師Ⅱ	証盟師Ⅱ 誦誦	従来の開天門と同じ。	刑齋表	氏名	備考
12/09	01:32	刑齋表開天門			証盟師Ⅱ 誦誦			廣田	
12/09	01:44	刑齋表開天門		証盟師Ⅱ	うたう、紙銭と表硫火にくくべる。			廣田	
12/09	02:33	謝師	花楼跡	保拳師Ⅱ？*	礼拝			廣田	
12/09	02:50	謝師	正面祭壇前	座壇師・総壇師・主齋師	盃に酒を注ぐ。紙銭燃やす、爆竹、唱えごと、答。			廣田・吉野	
12/09	02:52	謝師	功曹祭壇前	主齋師	唱えごと			廣田	
12/09	03:32	拆兵・拆胥	家先衆壇前	主齋師	唱えごと、紙銭置く、会首の名簿よむ、酒供える。			廣田	合兵合胥に対応。
12/09	03:37	降香	正面祭壇前	総壇師	根をもって稲鉦しながら唱えごと、紙銭燃やす。			廣田	
12/09		收神画	正面祭壇前	総壇師	米撒く。			廣田	米を撒くのは動かす前に米を撒いてしらせる為。米を撒かずに動かせない。米を撒かずに動かすと「犯」になる*。
12/09		收神画	花楼跡	座壇師	米撒く。			廣田	*
12/09	03:54～04:15	收神画	主祭場	祭司達	神画を片付ける。			廣田	*
12/09		拆兵・拆胥	主祭場	主齋師	唱えごと、答。			廣田	*
12/09		合婚	家先衆壇前	証盟師・保拳師	男禁房から布団を女禁房へもって行く。				*
12/09		合伙	男禁房→女禁房	総壇師・座壇師2人	男禁房から銅を女禁房へもって行く。			三村	合婚合伙の後に夫婦で話すこと可能となる*。
12/09	記述無し		主祭場	大会首・祭司	祭司に対して謝礼し、報酬を渡す。祭司達飲食。	謝礼の言葉：A15a「又大夜道場」～「謝王散福」まで。		廣田	本来、大会首が会首を代表して謝礼の言葉をいはずであるが、大会首は行わなかった。語句の中の金額は現在の金額に直す*。
12/09	06:54	借新度兵回家	湘麓村小学校付近		村中爆竹鳴らす。			廣田	
12/09		借新度兵回家			村中爆竹鳴らす。			李	
12/09		借新度兵回家		会首	柳宅			廣田	
12/09	09:00	借新度兵回家			7 会首宅祝賀会。			廣田	
12/09	16:15～19:00			引度師	会首宅へ来る、会首宅での儀礼。			廣田	引度師は3・4・7 会首その他は主齋師が行った。
*		家でやる儀礼			謝新度兵開天門				
*		家でやる儀礼			招五穀神開天門				
*		家でやる儀礼			安置兵				
12/13		送船*	雲台の先、北の方の川	主齋師	龍船に孤神や七精八怪を送る。香や使わなかった紙銭も焼く。				
*				主齋師	いつもの開天門とは異なる。				
*				主齋師	鶏を殺し、その血を龍船に撒く。				
*				主齋師	最後に焼く。			廣田	A15b「造船歌」「発船用」「上船歌」

3. 藍山ヤ才族度戒儀礼中補掛三灯部分程序

藍山ヤオ族 補掛三灯程序

廣田律子作成

番号	時間	内容
1	17:14頃 ～23:50頃	<p>請師 神々を招請する。 告頭連連、開告三声、大王搞過年年歳歳、歳歳年年。搞過大至王管下過了民国、過了公元以来。幾年幾月幾日、衆堂会道少欠三灯之人。今日補掛三盞明灯、接代香烟。第一爐明香、請上。衆会首上壇兵馬、下壇兵將、伏江盤王聖帝。玉(ママ)竜司命灶君、衆壇会道(ママ)、衆住家祖家先(ママ)、衆神王神將(ママ)。主醮引度証明、保主帶來三清兵馬三清兵將。総壇座壇師爺、帶來衆壇太歳(ママ)、太歳衆官、海番(ママ)張召二郎、大葛將軍。衆位衆祖先、師男衆位(受礼者の名生年の書かれた『醮壇人民単』の該当頁に記された受礼者及び祖先の名をここで読む)、師父(祭司の掛三灯時及び度戒時の師父の名を唱える)為車下降、排前坐位、男排左女排右、男排上女排下、依神点点、打開瓶中谷花酒献上。第一献上下車之酒、第二落馬酒杯、第三有肉酒中席齊。安排鑼位、不听功曹使者、不听别方孤神雜言。且听師男馬頭意者。意者已過、谷花米酒三献、一杯献二杯、二杯献上三杯。千人同盞万人同杯。以上3回唱える。酒を注ぐ。 交納補掛三灯、接代香烟、下車下馬銀錢、擁護師男来做銀錢 以上唱え、紙錢を積む。 また『醮壇人民単』の該当頁に記された受礼者及び祖先の名を唱える。</p>
2		<p>勅変水(米・布・錢・櫂)・打橙 儀礼に用いる米・布・錢・櫂を水と劍により浄化する。</p>
2-1		<p>勅変水 テキストを読誦する。 此水不是非凡之水、天上敢來雲霧之水、地下去來九龍之水、山中敢來楊柳之水、江中敢來長流之水、井中去來養人之(水)、塘中敢來養魚之水、田中敢來養禾之水、中取來一變化為洒淨之水、二變此水化為觀音楊柳之水、三變此水為真武之水、四變此水化為五雷殿上之水、五變此水化為八大金剛之水、六變此水化為三壇之水、連連化為雲霧之水、邪鬼自滅、吾奉太上老君急急如令勅</p>
2-2		<p>勅變米 テキストを読誦する。 此米不是非凡之米、米是化為天星養人之米、吾師將來化為千兵万馬、拋散速上壇前、將來拋把師男、速變速化、速速化變、吾奉太上老君急急如令勅</p>
2-3		<p>勅變布 テキストを読誦する。 此布不是非凡之布、布是化為三尺六寸、白布化為青竹、蛇化為金橋、吾師將來、拋把師男、速變速化、吾奉太上老君急急如令勅</p>
2-4		<p>勅變錢 テキストを読誦する。 此錢不是非凡之錢、錢是三十六文銅錢、化為三十六名雄兵、吾師將來、拋把師男、速變速化、吾奉太上老君急急如令勅</p>
2-5		<p>勅變櫂 テキストを読誦する。 此櫂不是非凡之櫂、化為老君之櫂、化金鑾寶殿、吾師將來、拋把師男、吾奉太上老君急急變じたか卦具で確認する。 師男勅第一、第二師父勅第三、陰告變成第三次 以上唱える。</p>
2-6		<p>打橙 テキストを読誦する。 一打橙頭立獅子 二打橙尾立麒麟 麒麟獅子兩邊立 叫你傷鬼莫傷人</p>
3		<p>昇橙 法服・法冠を載せた腰掛けを入口に運び戸外に向かい唱える。 本方地主、本部廟王、元宵神功、土地公、土地婆、金剛大將、過往神童、求財八保郎君、鑒齋大王、天斗星、七星姐妹、把門將軍、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫂、大家為本作証、証明、証明。 内側に戻り唱える。 元始天尊、靈宝天尊、道德天尊、玉皇聖主、張天師、李天師、鑒齋使者、十殿閻王、天府地府陽間水府、王靈官、馬元帥、上路天兵、下落地將、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫂、大家為本作証、証明、証明。 総壇太歳、太歳衆官、海番張召二郎、唐葛將軍、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫂、大家為本作証、証明、証明。 三苗聖王、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫂、大家為本作証、証明、証明。</p>

3. 藍山ヤオ族補掛三灯程序

	<p>陰陽師父(祭司の度戒時の師父名)、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫓、大家為本作証、証明、証明。 上壇兵馬、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫓、大家為本作証、証明、証明。 下壇兵將、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫓、大家為本作証、証明、証明。 福江盤王、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫓、大家為本作証、証明、証明。 五竜司命灶君、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫓、大家為本作証、証明、証明。 宅住竜神、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫓、大家為本作証、証明、証明。 衆祖家先、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫓、大家為本作証、証明、証明。 神王神將、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫓、大家為本作証、証明、証明。 仙姑姐妹、今日衆法補掛三灯。当天当地、昇老君之櫓、大家為本作証、証明、証明。 3回唱えるが、1回目2回目は順に、3回目は仙姑姐妹から元始天尊へ逆に唱える。</p>
4	<p>穿衣 受礼者は法服に着替える。テキストを読誦する。 橙頭立條殺鬼鉞 橙尾立條殺鬼槍 師男坐落金磚内 強如江水一缸長 吾奉太上老君急急如令勅 師男頭代金冠帽 右手執印入香門 口中常唸老君法 口念老君法令行 手執梅山 真正訣 又執梅山滅鬼磨 穿衣帶帽の舞を舞う。</p>
5	<p>踏蓮花 腰掛けに座った受礼者の足の下に碗を入れる。 テキストを読誦する。 左脚又踏蓮花朶 右脚又踏蓮花磚 吾師来到法壇下 千兵万馬付師男 吾奉太上老君急急如令勅</p>
6	<p>収伏断 祭司は紙銭を丸め受礼者の頭を越え外に向かって投げ、受礼者の煞を祓う。 收起暗金伏断殺、投中有暗金伏断、頭上収出、眼中有眼中収出。口中打落中口収出。手中打落手中収出、肚中有伏断肚中収出。脚中打落脚中収出。収出第一第二第三一便 ト具で祓われたかどうか判断し、陰卦で収、陽卦で飛と判断される。</p>
7	<p>蔵身 腰掛けに座った受礼者の周りを東南西北に回る。 テキストを読む。 勅変吾身頭上化為大葫蘆、頭髮化為松柏○、左眼化為星、右眼化為月、 左眉化為鉄鉤、右眉化為鉄鉤、 左耳化為左太山、右耳化為右太山、 左鼻化為左高山、右鼻化為右高山、 口中化為大石岩、小石岩、上齒化為鉄、 下(齒)化為鐵、左手化為殺鬼○、右手化為殺鬼邪、肚内化為大禾倉、小禾倉、大腸化為大南蛇、小南蛇、左脚化為竜、右化為虎、衣衫化為葉、大浪丁夫、小浪丁地、左邊化為獅子、右邊化為麒麟、寄在老君殿上好収蔵、寄在仙人肚内収蔵、三尊界過羅剛靈神、尋不見靈、鬼無踪無踪、吾奉太上老君急急如令勅 ()は筆者の推測。</p>
8	<p>起寸 祭司が受礼者の周りで一方の腕を立て、ひじを一方のげんこつで支える動作を行なう。 テキストを読誦する。 東方起銅寸鉄寸 寸得師男不流計 南方起銅寸鉄寸 寸得師男不流計 西方起銅寸鉄寸 寸得師男不流計 北方起銅寸鉄寸 寸得師男不流計 中央起銅寸鉄寸 寸得師男不流計</p>
	<p>変吾身 祭司が受礼者の周りで手を広げる動作を行なう。老君真道を行く身体となる。 テキストを読誦する。 謹請三尊変吾身 万鬼除邪不敢間 九帝高尊同變化 鉄城裡内好蔵身 吾奉太上老君急急如令勅(この部分は唱える) 謹請地師好蔵身 飛等金甲好蔵身 吾師蔵過無踪跡 羅城裡内好蔵身 吾奉太上老君急急如令勅(この部分は唱える) 謹請天師変吾身 本師変吾身 祖師変吾身 本師変吾身 急急変吾前 急急変吾後</p>

<p>9</p>	<p>吾奉太上老君急急如令勅(この部分は唱える) 謹請天師(無)蓋吾身 地師(無)蓋蓋吾身 祖師(無)蓋蓋吾身 本師(無)蓋蓋吾身 急急蓋吾前 急急蓋 吾後 吾奉太上老君急急如令勅(この部分は唱える) 頭上又立青雲過 又立紫雲脚下安 太上老君李仙仁 身騎白馬入青雲 手把鑷刀卦師弟 上元二聖坐壇前 海幡張召二郎壇前坐 照見壇前照甲兵 吾奉太上老君急急如令勅(この部分は唱える) 祭司は玉簡(笏)をもって舞う動作、野鬼を祓う。 テキストを誦する。 東方謝不着 南方謝不着 西方謝不着 北方謝不着 中央謝起金弓鉏 吾師化着鉄鉏子 飛入仙人肚内好藏身 吾奉太上老君急急如令勅(この部分は唱える) 東方射起金彈鉏 弓起南方白鬼頭 南方白鬼不抬頭 西方射起金弓鉏 鉏北方起白鬼頭 北方白鬼走無踪 中央射起金弓鉏 鉏起五方白鬼頭 五方白鬼鉏上天 吾奉太上老君急急如令勅(この部分は唱える) 東方射起金弓箭 箭南(ママ)方起白鬼驚 南方白鬼不來臨 南方射起金弓箭 箭起西方白鬼胸 西方射起鬼無踪 西方射起金弓箭 箭起北方白鬼腰 北方白鬼不超頭 北方射起金弓箭 ○起中央白鬼○ 中央白鬼急作開 中央射起金弓箭 箭起五方白鬼連 五方白鬼射上天 吾奉太上老君急急如令勅</p>
<p>10</p>	<p>昇灯 盆に灯明を載せ戸口まで運び外へ向ける。 次のように唱える。 立斎、本方地主、本部廟王、為本作証。師男昇起第一盞明灯、李十六盞灯、本十六盞灯是常念頭。師男受得師父李十六盞灯。了強明月出山頭。受礼者の法名、接代香烟、上也不差下也不错、証明、証明。 本方地主、本部廟王の神名部分は元宵神動、土地公、土地婆、金剛大将、過往神童、求財八保郎君のグループ、鑿齋大王、天斗星、七星姐妹、把門將軍のグループごとの神名に置き換えられる。 李十六の部分は李十二及び李十一に置き換えられる。 室内側に向かって元始天尊、靈宝天尊、道德天尊、玉皇聖主、張天師、李天師、鑿齋使者、十殿閻王、天府地府陽間水府、王靈官、馬元帥、上路天兵、下落地将、総壇太歳、太歳衆官、海番張召二郎、唐葛將軍、三苗聖王、陰陽師父、上壇兵馬、下壇兵将、福江盤王、五竜司命灶君、宅住竜神、衆祖家先、神王神将、仙姑姐妹の神名を入れ同様に唱える。3回ずつ唱えるが3回目は仙姑姐妹から元始天尊へ神名を逆に唱える。</p>
	<p>掛三灯 灯火を竹の灯架に置く。 以下の様に唱える。 鑿齋大王、天斗星、七星姐妹、把門將軍、三苗聖王、陰陽師父、上壇兵馬、下壇兵将、福江盤王、五竜司命灶君、宅住竜神、衆祖家先、神王神将、仙姑姐妹、元始天尊、靈宝天尊、道德天尊、玉皇聖主、張天師、李天師、鑿齋使者、十殿閻王、天府地府陽間水府、王靈官、馬元帥、上路天兵、下落地将、総壇太歳、太歳衆官、海番張召二郎、唐葛將軍、12名の度戒儀礼の祭司の名及び新掛師男受礼者の法名に続けて、 掛起 第一盞明灯李十六盞灯 李十六盞明灯常念頭 師男受得師父李十六盞灯 了強如月出山頭 第二盞明灯李十二盞明灯 李十二盞明灯常念長 師男受得師父李十二盞明灯 了強江水一缸長 第三盞明灯李十一盞明灯 李十一盞明灯常唸經 師男受得師父李十一盞明灯 了強如水一缸青</p>

3. 藍山ヤオ族補掛三灯程序

最後に今日掛起第一第二第三盞明灯接代香烟と唱えて終わる。
 祭司が掛灯訣を行ない伝宗接代の意味を表わす。
 1人の祭司が分担してテキスト(ヤオ族文化研究所資料No.A32a)を読誦する。
 太極分高厚 謹請上属天 人民修正道
 壇内作神仙 行滿三千界 時登四萬年
 當台開寶殿。金口永流傳 人生須未老壇
 内焼炉香 火急甲 速來臨
 皈依天 正法教 神馬通 妙想慈悲十劫内
 天星正法得威勇 回照下壇宮 金宝相 青
 雲化 化巍々 照見四邊感大道 閻浮世界度
 人民 天下滅邪精 聞照請元始天尊降來
 臨火急甲甲速來臨
 皈依法青雲化化巍々變化三千感大道度
 人無數變河沙 宝上坐蓮花 樓台内 高
 萬丈 金來装身着仙衣數白領坐天宮内
 下照萬方管人民天下滅邪精聞召請靈
 寶天尊降齊臨 火急甲 速來臨
 皈依師感道德 天也尊 老母懷胎八十春
 九龍運水洗陽間 頭髮白如銀 道高龍俯付
 真有道天仙 知善知凶真御領 玉皇案上共
 同心。斬鬼滅邪精 聞召請 道德天尊降來臨
 皈依真 真法力。威也勇 身着紅袍數白翎
 音林邪法滅邪精 玉帝顯神通 除邪打病
 下壇前 聞召請 師聖降來臨 火急甲 速來臨
 皈依礼 妙元聖 真老君 通達四十二年功果滿
 武當山上駕青雲 玉帝勅真君 脚踏龜蛇常
 輪轉。斬天斬地滅、邪精。聞召請 玄天上帝
 降來臨 火急甲 速來臨
 淨身呪
 淨身神呪 靈宝天尊 青龍白虎 隊崑崙○。
 朱雀玄武 自威我身 凶穢蕩散 道
 氣常存 火急甲 速來臨
 淨口呪
 淨口神呪 羅千齒神 火三鑿短言 度起
 真法 凶穢蕩散 不得留停 火急甲 速來臨
 玄天呪
 起請玄天大聖真 北方壬癸至靈神
 金闕天尊靈化身 無上將護真武軍
 威勇猛力太陰君 即速弥陀焚香請
 双精帶枷伏羣魔 萬里紫雲為九地
 紫袍金帶佩神通 斬鬼滅邪奉聖宗
 六丁六甲護真武 八殿將軍前後奏
 消災降福最興隆 皈依一心虔拜請
 弦天上帝降來臨 火急甲速來臨
 北斗呪
 北斗七星、中天大神 上朝金闕下赴崑崙
 調理綱統建乾坤 貪狼巨門六存文曲
 破軍武曲大州天界 細入微塵何災不滅
 何福不生元皇生氣 來合我身天罡所旨
 盡夜常輪各屬小人 好道求靈常見尊儀
 願賜長生高上玉皇 紫微上帝三台生我
 來三台養我 三台護我來 道德見行八寶儀
 五方小鬼走飄飄火急甲速來臨
 黎十六呪
 奉請助法李十六 啓請仙師小弑官
 部領猛將力威勇 双精帶枷伏羣魔
 即速到壇來度法 五七朝官為大將
 統領三千六方兵 世上人民多敬奉
 三台會上有郎名 顯起神通天地動
 敲枷打鎖鬼神通 小一部童來報應
 書符作法救良民 投狀到壇來接請
 行罡不到不曾停 玉帝行前吾行後
 變成法水變吾身 開壇接請吾師到
 威風凜々鎮乾坤 若有邪師為岡雨
 燒入爐中罪不輕 白衣使者身着綠
 速歸本院陀羅弥 火急甲 速來臨
 李十一呪

	<p>起請通天李十一 統領天兵共師来 黄袍猛将萬名伏 出入有名 幡車樹上天兵列 金甲我神 庚申甲子間召請 来降香壇化利名 李十二咒 起請通天李十二 兩個星君作証盟 頭戴五雷輕教度 脚踏火磚反火車 走魔世界走世魔 打開天府召亡魂 功曹咒 功曹土地 神之最灵 陸天達地 出入幽明 有功之日 文書上請 為吾傳奏 不得留停 財馬咒 財馬神咒 天有天靈 地有地靈 陰陽造化 上得天庭 用火焚化 貫北分明 火急甲 速来臨 祖師咒 祖師坛前打起訣 包荷萬象坐坛前 若有家中不正鬼 手拿鉄鎖鬧喧天 若有邪魔反小鬼 且来坛下化為勅 若有邪師来闢法 反刀自斬案中心 玉皇面前親請我 靈兵拾萬救良民 祖師坛前齋下降 除邪岡内走紛紛 別の祭司はテキスト(ヤオ族文化研究所資料No.A32b)を讀誦。 太上三通嶺 齊道救八難 人名得安康(人明得安樂) 保人得長生 解厄 能解太歲厄 能解太陽厄 太星北斗七元君 解厄 能解喪門厄 能解三災厄 太星北斗七元君 解厄 能解四煞厄 能解五刑厄 太星北斗七元君 解厄 能解六害厄 能解七星厄 太星北斗七元君 解厄 能解八難厄 能解九星厄 太星北斗七元君 解厄 能解十惡厄 能解夫妻厄 太星北斗七元君 解厄 能解男女厄 能解生產厄 太星北斗七元君 解厄 能解疾病厄 能解疾痢厄 太星北斗七元君 解厄 能解精邪厄 能解虎狼厄 太星北斗七元君 解厄 能解毒邪厄 能解脚踏厄 太星北斗七元君 解厄 能解橫木厄 能解呪咀厄 太星北斗七元君 解厄 能解天羅厄 能解地網厄 太星北斗七元君 解厄 能解刀兵厄 能解金木厄 太星北斗七元君 解厄 能解火水土厄 能解無果太無位厄 太星北斗七元君 即今解過榮發位 榮華位上万千年 当堂解過榮發位 人丁興旺万千年</p>
<p>12</p>	<p>退灯 灯明を片付ける。 祭司はテキストを讀誦する。 一退貪狼反文曲 文曲水中出宝珠 壇前宝法后縁有 法主青青門下寄 二退六存反五曲 五曲水中出宝珠</p>

3. 藍山ヤオ族補掛三灯程序

	<p>師男橋上來听法 法主青青門下寄 退了盞一(二盞) 重晋一盞照師男 若有十方人相請 靈兵去救十方人</p>
13	<p>撥橋(補橋)・撥路・撥兵・撥法 布を受礼者の膝に広げる。 祭司はテキストを読誦する。 仙人補起陰橋路 白鶴合香掛起來 白鶴合香掛玉帝 掛帝合香掛老君 老君合香掛王母 王母合香掛天師 天師合香掛地師 地師合香掛祖師 祖師合香掛本師 本師合香掛吾師 吾師合香掛師男 若有十方人相請 靈兵去救十方人 自古一世傳一世 自古一人傳一人 子孫代代接香門 祭司は撥橋で以下のように唱える。 三苗聖主、陰陽師父、上壇兵馬、下壇兵將、福江盤王、五竜司命灶君、宅住竜神、衆祖家 先、神王神將、仙姑姐妹、元始天尊、靈宝天尊、道德天尊、玉皇、聖主、張天師、李天師、鑿 齋使者、十殿閻王、天府地府陽間水府、王靈官、馬元帥、上路天兵、下路地將、総壇太歳、 太歳衆官、海番張召二郎、唐葛將軍、鑿齋大王、天斗星、七星姐妹、把門將軍、本方地主、 本部廟王、元宵神功、土地公、土地婆、金剛大將、過往神童、求財八保郎君 当壇新掛師男(受礼者の名)、撥起白布橋梁、白布橋梁、七星橋梁、七星路陽卦 陽卦が出るまでト具を投じる。 撥兵で以下のように唱える。 神名同様 今日当壇撥起六十份兵將、撥一份留一份、陽卦撥、陰卦保、勝卦照顧 撥法で以下のように唱える。 神名同様 今日、師男当壇撥法、撥給師男(受礼者の名)、求兵相應、山求山意、水叫水靈</p>
14	<p>分兵 祭司はテキストを読誦する。 白布源來有己尺 何人抛把小師男 白米源來有己斗 何人抛把小師男 銅錢源來有己十 何人抛把小師男 白米源來把升量 量得三斗共三升 白布源來三尺六 当堂抛把小師男 白米源來三斗六 当堂抛把小師男 銅錢源來三十六 当壇抛把小師男 白布当堂抛把你 安在龍内做龍衣 白米当壇抛把你 安在龍内做龍 銅錢当堂抛把你 安在龍内做龍隣 好師男 師男好 開你認師不認師 認師便把橋上坐 師父橋上好抛兵 左手抛兵掛弟子 右手抛兵掛小師</p>

	<p>若有十方人相請 靈兵去救十方人 自古一世傳一世 自古一人傳一人 香壇裡內來教你 子孫代代接香門 米と錢36枚を銅鈴に入れ、布で包む。 以下のように唱える。 千兵万馬、雄兵悉將、六十份兵頭、六十份兵將。分兵分將、一斗二斗、三百六十頭。一千兩千三百六十千、一万二万三百六十万。七千八百万兵頭兵將。</p>
15	<p>吹米 祭司は以下の唱えごとをした後、米を受礼者の口に吹き入れる。 此米不是非凡米、当壇吹把小師。吹把師男口中入、千年万歳在心中</p>
16	<p>定陰陽 7枚の錢を鈴に入れ、裏表を見て三陰四陽が揃うまで投げる。 祭司が次のように唱える。 神名同様 為本作証、今日当壇(受礼者の法名)、新掛師男当壇掛起三盞屋案明灯、接代公位五路香烟、撥兵撥將撥橋撥路、完滿以了。要来定過付準陽、定得三陰四陽、黄金付断水</p>
17	<p>退蓮花 受礼者の足下の碗をどける。 祭司はテキストを読誦する。 左脚又退蓮花朵 右脚又退蓮花磚 今日今時掛三召 屋宰明灯完滿了 子孫代代接香門</p>
18	<p>接香爐 香爐をかがせ伝祖接代とする。 祭司はテキストを読誦する。 手把香炉共水碗 当壇抛把小師前 水碗不断千年水 香炉不断万年烟</p>
19	<p>学打鑼 ドラの法を伝授。 祭司はテキストを読誦する。 手把銅鑼共面鼓 香門行旺万千年 若有十方人相請 鑼声鼓响付歌堂</p>
20	<p>学吹牛角(伝師棍伝卦) 角吹の法・ト具の法を伝授。 祭司はテキストを読誦する。 手把牛角共師棍 当堂抛把小師男 若有十方人相請 菩頭落地定陰陽</p>
21	<p>学用鈴(伝牙簡伝銅鈴) 牙簡及び鈴の法を伝授。 祭司はテキストを読誦する。 手把銅鈴並筭簡 当壇抛把小師男 今日投師学法完滿了 行罡脚步轉番番</p>
22	<p>抬轎子 師棍で受礼者の両脇をはさみ立たせる。 祭司はテキストを読誦する。 門前水 門前江水轉弯弯 門前江水弯弯轉 抬起新掛師男做大官 門前水 門前江水轉滾滾 門前江水滾滾轉 抬起新掛師男做秀才 門前水 門前江水轉翁翁 門前江水翁翁轉 抬起新掛師男做師公</p>

3. 藍山ヤオ族補掛三灯程序

		の3つの部分に分け読誦する。
23		学走罡步(伝七星罡步) 罡步を伝授。 唱えごとはなし。
24		学舞学揺鈴 謝師舞の伝授 祭司の1人はテキストを読誦する。祭司としての正道を教える。 請師教 請師教 不教師男教何人 撥兵撥法完滿了 我代師男條破神 我代師男條破鬼 師男学法救人民 要教便教香壇内 我教師男在壇中 教你会 教你会 教你撥兵撥法救人民 救得男安女也安 師父有名我有声 正師教 正師教 正師教子教師男 師男学法隨師轉 行罡学法救人民 有名入得法壇内 邪磨小鬼不敢入壇前 一心一意來教你 不教師男到巳時 十字路頭掛大榜 正是師男学法師 正心正意來教你 問你有心有○心 你若有心我有意 香壇撥法教師男 三十六兵撥把你 有行天下救人民 有錢請我我也去 無錢請我我也去 ○山請我我也去 ○海請我我也去 若有十方人相請 時時勇付付師男 師男藏身去救病 救得男安女也安 小鬼不見師男面 邪師不見師男身 天兵得見好名字 師男名字掛天門 不圖香花圖○貴 且圖名字大普傳 宗祖家先魏魏坐 下壇兵馬做証盟 撥兵撥法完滿了 時時有法付師男 日裡又發千兵馬 夜裡又法万兵行 問在今朝人相請 千兵万馬付師男 請師教 請師教 正師教男教好人 正男是好教好子 師男不教教何兒 請師教 請師教 正是好男教好兒 正是好兒教好子 師男不教教何人 師男多代新掛師男條破鬼 流鄉過界救人民

師父多代新掛師男條破神

流郷過界救人丁

行罡轉步去番番

代兵去救十方人

以下の唱えごとを加える。

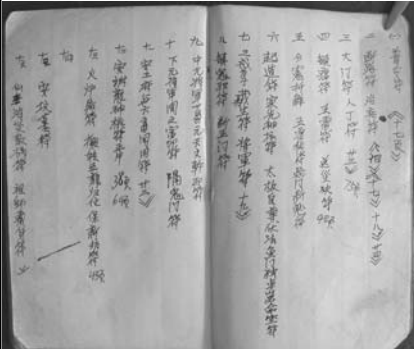
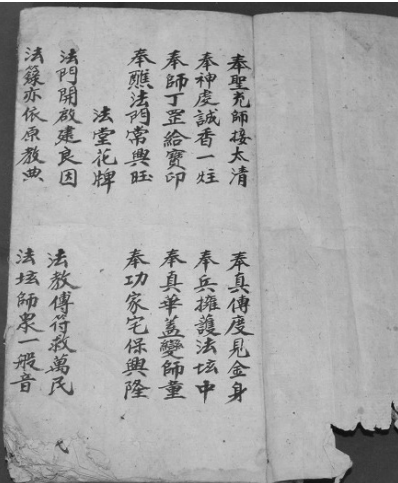
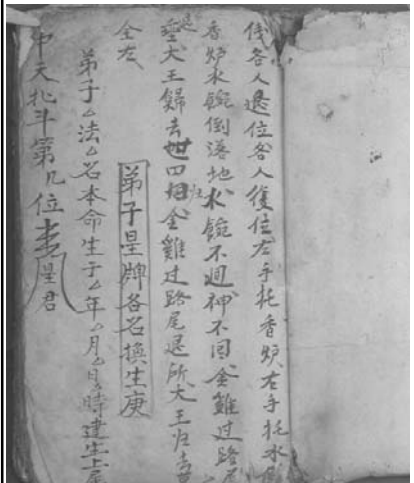
為吾今日今時有好好商、奉為新掛師男。掛起三蓋屋案明灯、撥兵撥將撥橋撥路完满了。安
安遊遊坐香壇、遊遊香壇坐。一朝一夜歸各位起馬回轉各帰堂

祭司の1人は、以下の唱えごとを行なう。


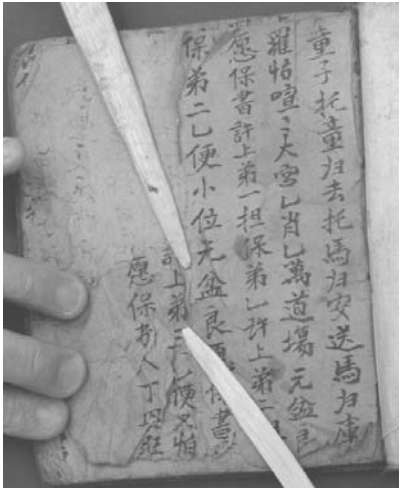
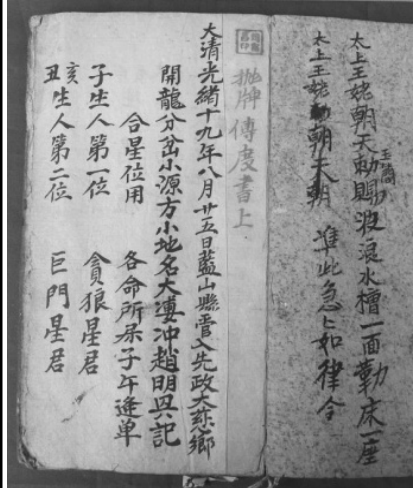
令過父母大堂衆聖三苗聖主、陰陽師父、上壇兵馬、下壇兵將、福江盤王、五竜司命灶君、宅
住竜神、衆祖家先、神王神將、仙姑姐妹、元始天尊、靈宝天尊、道德天尊、玉皇、聖主、張天
師、李天師、鑿齋使者、十殿閻王、天府地府陽間水府、王靈官、馬元帥、上路天兵、下路地
將、総壇太歳、太歳衆官、海番張召二郎、唐葛將軍、鑿齋大王、天斗星、七星姐妹、把門將
軍、本方地主、本部廟王、元宵神功、土地公、土地婆、金剛大將、過往神童、求財八保郎君、
安坐位。引帶新掛師男條破神

4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

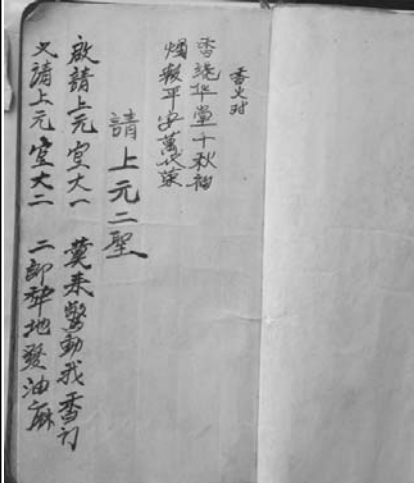
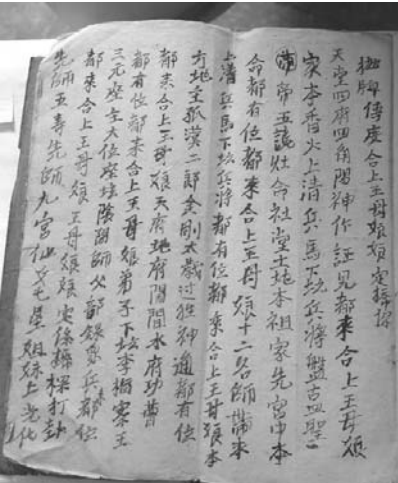
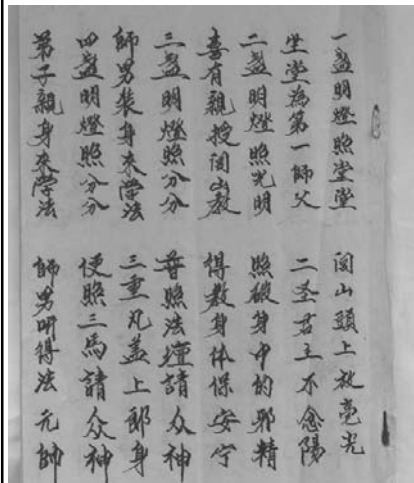
4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	A-1	A-2(A-4)	A-3
題名			
ジャンル	符書	書表書（伝度用）	書表書（伝度用）
紀年・記名		民国三十四年五月	
用語・備考	罡歩・符・呪語・口訣が収められている。 請陽符呪語には二〇〇二年七月写とある。 松樹皮 窰地坭 食十皿 蜂窩 鷄毛少許（1頁書入） 全90頁。	文書の（状・榜・花牌・対聯・表・引・詞・疏・牌位・符）の例文を収める。 日付が大清・皇上とある。 地名に大清國湖南永州府・大清國湖廣道・大清國とある。 末尾の「…中甸託友代」以降破損が激しく不明。 全116頁。	文書（表・牌・引・表・疏・榜・符・花牌）の例文を収める。 地名に大民國湖南・大清國・大清國湖廣道。 日付に皇上。 全135頁。
冒頭	一、普安符 十七頁	奉聖充師接太清 奉真傳度見金身	儂各人退位各人復位左手托香炉
末尾	奉勅令請奉盤古仙人鎮宅墓臨山到向輔正驅邪無忌神煞（符）	又填庫添師名列後 填庫縁 填庫表 填庫師 民国三十四年五月中甸託友代	把筆童子 至聖孔子滕籙先之神位 掌稿郎君
静止画			
撮影日	2008年11月	2008年11月26日	2008年11月

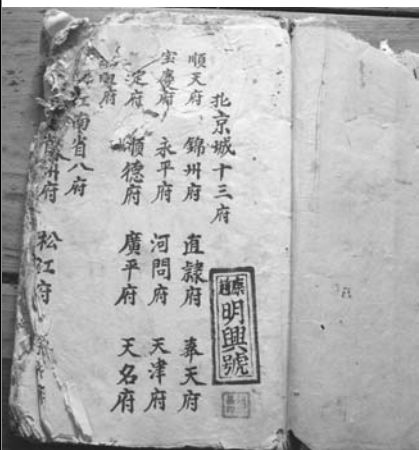

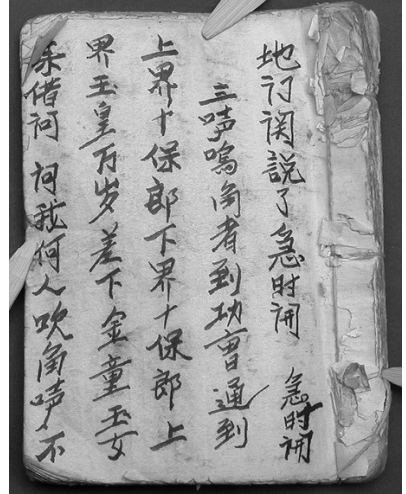
4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	A-5	A-6	A-10
題名			抛牌傳度書上
ジャンル	書表書（伝度用）	意者書	書表書（伝度用）
紀年・記名	一九五五年正月中旬託友代抄傳度疏表文書壹冊永遠為記人生留記虎死留皮 盤桂栄・盤四満（表紙裏）	馮法保	大清光緒十九年八月廿五日藍山縣管入先政大慈鄉開龍分岔小源方小地名太（浦+女）冲趙明興記
用語・備考	文書（花牌・状・引・榜・対聯・表・詞・牌位・牒・符）の例文を収める。 地名に大清・大清國・大清國湖南永州府・大清國湖廣。 日付に皇上。 紅粉一个 江老一个 共兩米 水茶一个 高口五个（末尾書入） 全107頁。	盤王良愿、度戒儀礼の次第、招兵良愿、架橋儀礼に関する内容。 全93頁。	疏・表・対聯・旛・硃詞・引・符・榜・状・牒・花牌・扱の例文を収める。 朱筆で加筆されている。 地名に大清國・大清國湖南。 日付は皇上。 末尾は破損が激しく不明。 太上王姥朝天勅玉簡賜波浪水槽一面勒床一座（表紙裏書入） 全180頁。
冒頭	奉聖充師接太清 奉真傳度見金身	童子托童歸去托馬歸安送馬歸庫	抛牌傳度書上 大清光緒十九年八月廿五日
末尾	填庫縁填庫表填庫師填庫共三名師	十八少年六梯先排起先信先排先信洛中夫	成心酬願萬口口酬賽良因神賜
静止画			
撮影日	2008年11月27日	2008年11月27日	2008年11月29日

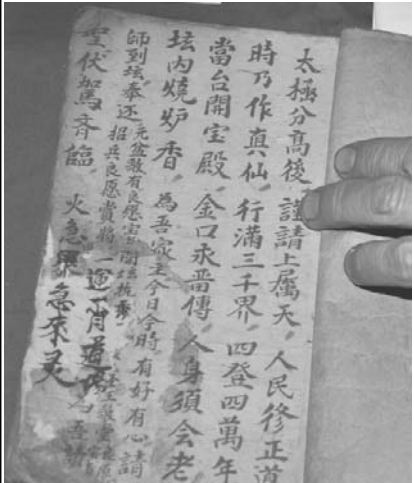
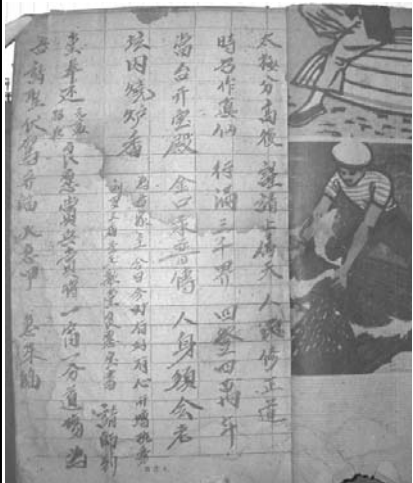
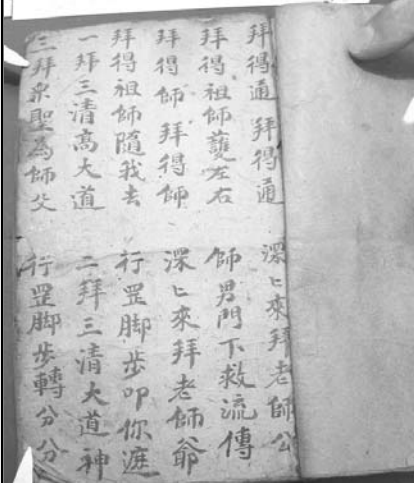
4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	A-11	A-12(A-21)	A-13
題名	聖書下本		十二盞大羅明燈大道贊
ジャンル	請聖書（還願用・道場用）	伝度書	伝度書部分
紀年・記名		歲次光緒丁酉年十月吉日谷旦盤明旺傳度傳灯法記	馮榮軍抄録二〇〇七年丁亥歲十月
用語・備考	神々に関する歌。七言上下句。全209頁。	度戒儀礼の呪文、罡歩、剣画が収められている。 神名・罡歩の図・儀礼歌。 七言上下句。 末尾は破損が激しく中程で切れている。 教教為貴子何我口奉你孝子我兎前光栄（裏表紙） 全91頁。	掛十二灯儀礼に関する内容。七言上下句。「贈給趙法明法師」 十二盞大羅明燈 大道贊 馮榮軍抄録 二〇〇七年丁亥歲十月（末尾書入） 全17頁。
冒頭	香火対香繞華堂千秋福 燭報平安萬代栄	抛牌傳度合上王母娘娘定橋樑天堂四府四角陽神作証見都来合上王母娘	一盞明燈照堂堂 閭山頭上放毫光
末尾	請你衆聖神明做証明保佑家主万千年	去青衣滔々下壇台一	拜請 香煙接請起首欄腦伏竇降來臨
静止画			
撮影日	2008年11月29日	2008年11月30日	2008年11月30日



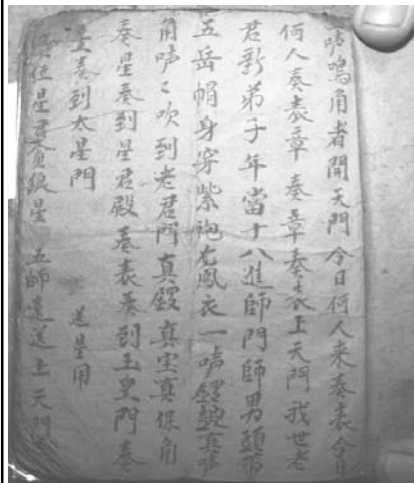
4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	A-15a(A-17)	A-15b	A-16a
題名	□□二十七年彩画三清大開光傳度陽陰加職補充用		
ジャンル	書表書（伝度用）	伝度書	意者書（御名意者）
紀年・記名	康趙明興號の印（表紙） 趙富昌の印 □□二十七年 今我小源大（浦+女）冲家内依古疏表膳抄一部恭呈趙盟興賢弟台下拋排向後人財兩盛富貴…… 皇上光緒拾陸年次庚寅歲四月廿二日目錄 天運大清皇上光緒十九年三月初四日我小源大（浦+女）冲趙明興親筆膳抄拋牌傳度加職補充書表疏文乙本正留与代人子孫万代八方人請香火開通康趙明興號親筆	大漢中華民國元年梅月鈔盤法雲記（表紙裏） 中華民國元年壬子梅月吉日邵邑愚弟賀東榮代抄盤進榮名下号（末尾書入）	法亮 趙法明 癸卯歲中八月初七中之日寅卯之時 乙丑歲中十二月初七 結婚 癸酉歲中四月 席中開限 甲戌歲中十月卅中之日 掛三灯 起手道場 乙亥歲中 十月十八中之日 掛十二灯
用語・備考	度戒儀礼の叙任地の地名録。陰地契・疏・表・誥文・據・硃詞・引・青詞・榜・花牌の例文を収める。 皇上。地名に大清國・大清國湖南。 主焦——水槽 引度——朝天間 証明——伏轉（表紙裏書入） 全154頁。	儀礼の呪文、劍画、罡歩が収められている。一部に七言上下句。藏書者盤順森の印あり。 全126頁。	趙金仔祭司の人生儀礼の受礼の状況、意者書、儀礼に必要な呪文。出生の地名に大源冲・黄竹埂、職位の地名に四川省城都府。 全86頁。
冒頭	北京城十三府 順天府錦州府	勅變藏身法水用此水不是非凡之水	地門闕說了急時開 急時開
末尾	七天八夜疏格止 超度天堂上天口	白布原来一丈二 郎今化作伏成兵	李文官 上天門 李文貞 上天庭 李文康 上天堂 又送聖
静止画			
撮影日	2008年12月1日	2008年12月2日	2008年11月

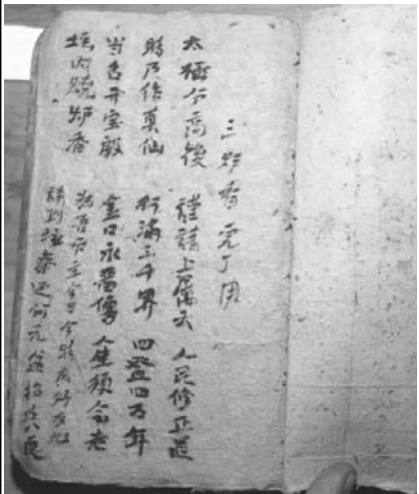

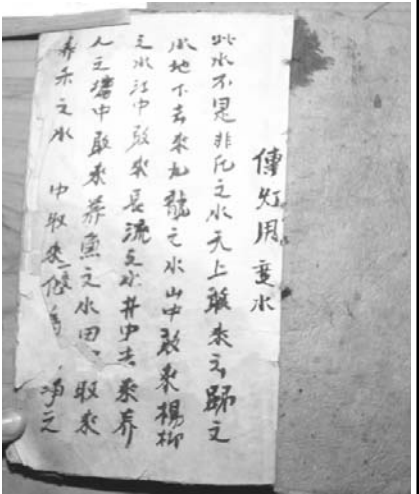
4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	A-16b(A-20)	A-18	A-19
題名	請聖書乙本		賞光書
ジャンル	請聖書（還愿用・元盆用または招兵用）	請聖書	賞光書（還愿用・元盆用または招兵用）
紀年・記名	啟玉 民国己巳年三月中旬抄書盤啟玉抄写聖書為記		盤啟玉
用語・備考	神名・呪文・神々に関する歌・良愿宝書・意者書の例文・儀礼歌・劍画を含む。七言上下句もある。二枚の折り込みあり。 子孫永遠法門開通（末尾書入）全132頁。	呪文・神々に関する歌・神名・意者書の例文・劍画。七言上下句。地名に大清國・湖廣都湖南永州府某縣某郷。 全120頁。	呪文・儀礼歌・神々に関する歌・問答・神名。 七言上下句。 地名に湖南。 全148頁。
冒頭	太極分高後 謹請上属天 人民修正道	太極分高後 謹請上属天 人民修正道	拜得通拜得通 深々來拜老師公
末尾	家主道場相接你 排神座位一齊臨	下界神明香壇坐 邪師不敢入香壇 家主道場□□你 排神座位一齊□	得分明殷々去化歸陰府結良縁火急 甲急來臨囉々哩々
静止画			
撮影日	2008年12月2日	2008年11月	2008年12月2日

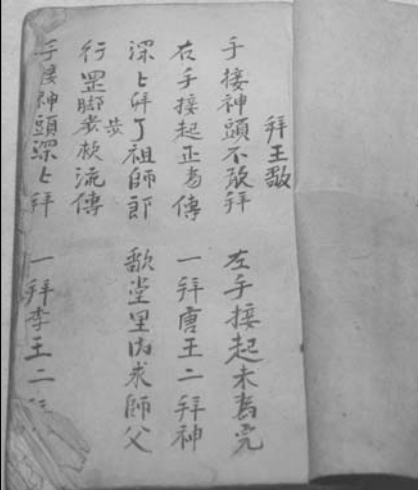


4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	A-22	A-30a	A-30b
題名			
ジャンル	請聖書（還愿用）	賞光書（還愿用・元盆用または招兵用）	要検討 意者書（含御名意者）等
紀年・記名		公元一九九八年 盤財貴印	盤法富記号（表紙） 交過光緒二十二年丙申歲中春季夏季過了秋季以来七月初初五日陽日戌亥二時（祭司の生年）行間に 民国十五年の書入有 七年戌午歲中冬季以来原在十一月中旬（良愿宝書・掛三灯） 甲子歲十月廿一日（掛十二灯）
用語・備考	儀礼用呪文・神に関する歌・神名。 七言上下句。 地名に貴州。 全45頁。	儀礼用呪文・儀礼歌・神々に関する歌・神名。 七言上下句。 地名に湖南。 全256頁。	儀礼歌・神々に関する歌・意者書・祭司の人生儀礼の受礼の状況・呪文。 七言上下句。 末尾は剥落が激しく半ばまで、「…拝聖々言開」で切れる。 全48頁。
冒頭	人話三清不吃酒見人吃酒我往頭寅	陽上報恩孝某處備宜用錢財乙担	一声鳴角者開天門今日何人来奏表今日
末尾	一拜老君衆案主 二拜兵馬赴郎壇	起馬等度都完了 瓮水上天完滿収	拜神々自在拜聖々言開
静止画			
撮影日	2008年12月3日	2008年12月4日	2008年12月8日

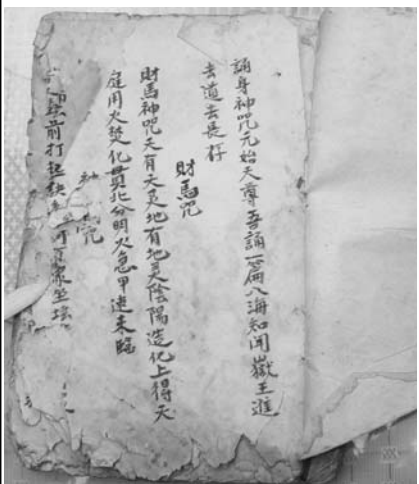
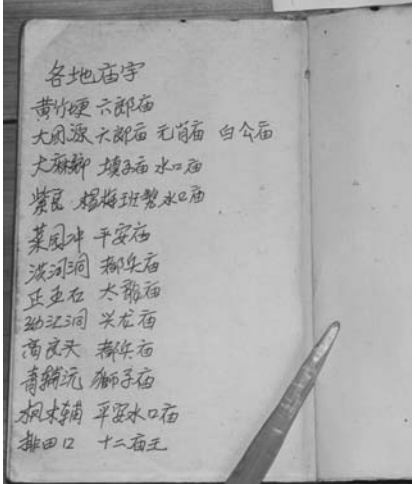

4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	A-31	A-32a	A-32b
題名			
ジャンル	請聖書（伝度用・還愿用）	請聖書（還愿用）	伝度書
紀年・記名	盤□□ 盤龍趙	趙子鳳（趙金仔祭司の師父）	
用語・備考	儀礼・呪文・神に関する歌・神名・剣画・意者書の例文。七言上下句。全201頁。	儀礼の呪文・神名・剣画・儀礼歌・神々に関する歌・花聯。七言上下句。全195頁。	掛三灯儀礼の呪文・儀礼歌。七言上下句。全87頁。
冒頭	三爐香完了用 太極分高後 謹請上属天 人民修正道	起請拆官上大聖 又請釋官上帝神	傳灯用變水此水不是非凡之水
末尾	五其一行聖中各人奏祖司九廟出世廟宮	聞説今朝有相請 擇官任任收榜文完	今日当堂度子弟 分明听説我今言
静止画			
撮影日	2008年12月8日	2008年12月5日	2008年12月9日



4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	B-1	B-2	B-3
題名		四廟歌書	盤王大歌
ジャンル	歌堂書	歌堂書	歌堂書
紀年・記名	盤明福聖本黄元富乙亥年騰抄記號 乙亥年十月初六完黄元富號		中華民國三十一年癸未歲端月十九日 愚兄王繼緣謹抄記
用語・備考	七言上下句。 全140頁。	七言上下句。 全105頁。	七言上下句。 全70頁。
冒頭	拜王歌 手接神頭不敢拜 左手接起未為完	河岸種条真香樹 真香樹底石齋々沉々	人話娘村歌堂到 九州四馬置舡來行
末尾	第七梅花大飲酒欄散歌詞曲	聖人種得太陰木 拋上太陽隨月行 千万年	着人藏思量眼泪思量眼泪落双双
静止画			
撮影日	2006年1月7日	2006年1月8日	2006年1月8日

4. ヤオ族文化研究所蔵テキスト目録

テキスト番号	B-4	B-5	B-6
題名		度亡赦罪書	
ジャンル	請聖書	超度書（喪葬用）	曆書（治病用）
紀年・記名	民国		趙金仔
用語・備考	呪文、意者書、符、良愿宝書。 末尾「…吾奉太上老」以降剥落がひどく不明。 全49頁。	呪文、懐胎歌等、掛吊八句。七言上下句。大半は印刷活字本複製。 全46頁。	汇沅湘關黃竹埂趙金仔の印。 曆、呪文。 全75頁。
冒頭	誦身神咒天始天尊吾誦一篇八海知聞嶽王進	各地廟宇 黃竹埂 六郎廟	方奉本安 初五日病有犯司命五道神其病熱四肢痛用
末尾	縣不靈動作吾奉太上老	慈母恩深無能報・大事難当理心当	石旺煩急要祭星辰作福大吉利也
静止画			
撮影日	2010年8月13日	2010年5月1日	2010年5月1日

4. ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録

テキスト番号	B-7	B-8
題名	譯日抄本	三座還愿保書
ジャンル	曆書	意者書
紀年・記名		盤法銀 趙貴（日+玉）法盛書壹本 1989年戊辰年
用語・備考	曆、吉凶日。 11頁天隔地隔（表紙裏） 冒頭剥落激しい。 全76頁。	末尾剥落ひどく不明。 全145頁。
冒頭		功不為前小事因為前歲以來交過某年 某月某日法某家門頭上
末尾	六姓人嫁聚起造安葬切揚忌不之用日	人話血盆也難破
静止画		
撮影日	2010年4月29日	2006年1月5日